

令和5年度

学生生活実態調査報告書

奈良教育大学学生委員会

目 次

調査の概要	1
-------	---

【学部】

A. 基本事項	3
B. 将来希望する進路について	4
C. あなたの健康について	6
D. 現在の悩みについて	8
E. ハラスメント、人権問題等について	11
F. 課外活動（サークル活動等）と学内における生活の状況について	17
G. ボランティア活動について	24
H. 図書館の利用について	27
I. 情報館の利用について	30
J. 教育資料館について	32
K. 経済状況について	34

【大学院】

A. 基本事項	38
B. 将来希望する進路について	39
C. あなたの健康について	41
D. 現在の悩みについて	43
E. ハラスメント、人権問題等について	46
F. 課外活動（サークル活動等）と学内における生活の状況について	52
G. ボランティア活動について	58
H. 図書館の利用について	61
I. 情報館の利用について	64
J. 教育資料館について	66
K. 経済状況について	68

調査の概要

1. 調査の目的

本学では、学生の立場に立ってサポートする学習・生活支援システムを整備する努力をしています。そのため、定期的に学生生活実態調査を実施し、学生の生活や学業などについての現状を知ること、施設や制度、教職員による支援活動の状況を検討し、学生支援の改善を図っています。

2. 調査の組織

学生委員会が関係委員会等との連携により、実施方法及び調査事項を検討し、学生委員会の議を経て実施しました。

3. 調査の方法

この調査は、本学の学部、大学院に在籍する学生を対象として、パソコンやスマートフォン等からWeb上で回答する方法により実施しました。

4. 調査期間

令和5年10月25日～令和5年11月30日

5. 調査結果の概要

多様な観点から学生生活の実態を把握する目的で、14領域にわたって質問を行いました。結果分析においては本学の学生委員会、人権・ハラスメント防止委員会、就職支援室、図書館運営委員会、情報センター運営委員会、保健センターの協力のもとに検討を行いました。

区分		学生数 (人)	回答者数 (人)	回答率 (%)
学部	計	1,100	287	26.1
大学院・ 教職大学院	計	137	16	11.7
合計	計	1,237	303	24.5

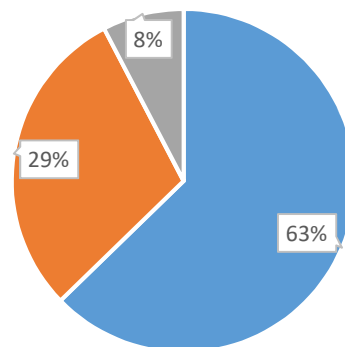
入学年度別

区分	学生数 (人)	回答者数(人)					計	回答率 (%)
		令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度 以前		
学部	1,100	66	57	96	63	5	287	26.1
大学院・ 教職大学院	137	5	11	0	0	0	16	11.7
計	1,237	71	68	96	63	5	303	24.5

(学 部)

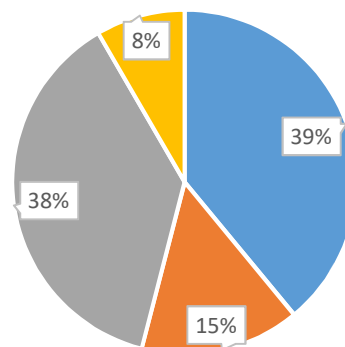
03 あなたの住居

自宅（家族と同居）	180
自宅外（学生寮を除く）	85
学生寮	22
計	287



04 通学に要する時間（片道）

30分未満	112
30分～1時間未満	43
1時間～2時間未満	108
2時間以上	24
計	287



カテゴリ名：

「B. 将来希望する進路について」

調査項目：

05 将来希望する進路について、お答えください

06 大学が実施する就職支援対策について、意見・要望等を自由に
入力してください

1. 全体の傾向

学部生全体に占める教員就職希望者の割合は68%である。過去のデータを見ると、学部生全体の教員就職希望者の割合は、71%（6年前）→68%（4年前）→64%（2年前）→68%（今回）と推移しており、前回まで減少傾向を示していたが増加に転じている。近年の本学における教員就職率と本調査における教員就職希望者の割合を考えると、教員就職率を上げるためには「教員就職希望者を入学させる」及び「入学後に進路変更する者を少なくする」の2つの対策が必要である。

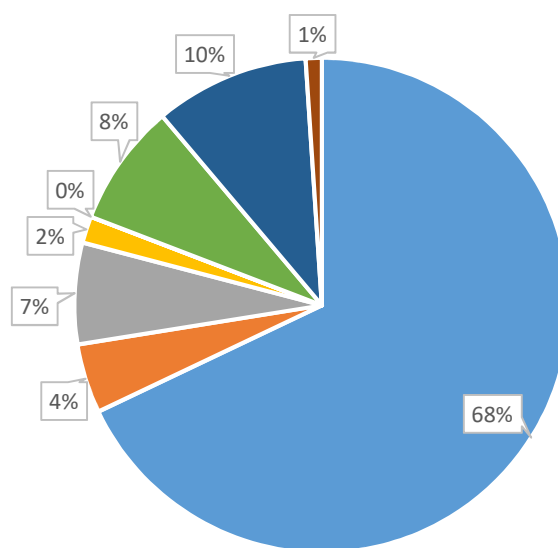
また、就職支援に関しては多数の意見が集まった。教員就職の支援に対しては「満足」という回答が多数見受けられ、中でもキャリアサロンの先生に感謝する回答が多かった。その一方で、「奈良以外の教採支援を充実させてほしい」「キャリアサロンの先生を増やすべき」「試験直前になると、キャリアサロンの個別相談の予約がなかなか取れない」といった意見もあった。教員就職以外では、「企業就職、公務員就職の支援を手厚くしてほしい」という意見が複数あり、その他にも、「大学院の情報がほしい」「案内がメールだと漏れてしまう」といった意見があった。

2. 特筆すべき事項

自由記述で出た意見はおおむね、過去のアンケートでも見られた意見が多かった。前回調査と同様に、コロナ禍において授業や行事などが非対面で行われたことを反映して「就職支援のオンデマンド対応」といった要望があった。

05 将来希望する進路について、お答えください

教員（保育士含む）	195
公務員（教員を除く）	13
民間企業	19
民間の教育施設や福祉施設	5
自由業・家業を継ぐ	0
大学院へ進学	23
未定	29
その他	3
計	287



カテゴリ名：

「C. あなたの健康について」

調査項目：

- 07 あなたは、健康だと思いますか
- 08 あなたは、喫煙の経験がありますか
- 09 あなたは、お酒を飲みますか
- 10 普段から健康に心掛けていますか
- 11 カウンセリングの利用方法を知っていますか

1. 全体の傾向

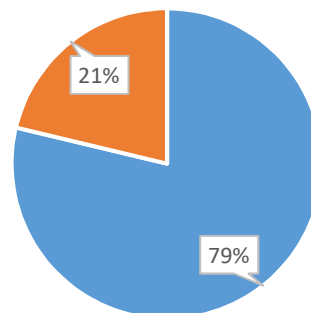
約8割が健康であるとの回答であった。健康感については、学部生の年齢層ではフィジカルとメンタルどちらを重視するか個人差が大きい。ただ、2割の人が健康でないと感じていることは重視すべきと考える。現在の喫煙者率は3%弱で、大幅に成人の喫煙率より低い。大学入学に際し喫煙習慣が始まらないことが重要であり、本学が全面敷地内禁煙になっていることは非常に大きい。飲酒者率はほぼ6割だが、毎日飲むという常習飲酒者は喫煙者率と同じく3%弱である。お酒を飲む人が6割、全く飲まない人が4割というのは、ほぼ日本人の飲める人飲めない人の割合と一致する。もちろん、一、二回生は未成年が多いので、三、四回生になればもう少し率は上がると思われるが、まずまず望ましい結果である。普段から健康に心掛けている人は7割弱で、これは学部生の年齢層ではむしろ高いと思われる。「健康とライフスタイル」等の教養科目で啓発を続ける必要はある。カウンセリングの利用方法を知らない人が62%に上るのは、小冊子「学生生活」や大学HPが十分見られていないのだろうが、コロナ禍前まで行っていた保健センターのオリエンテーションが中断していることも影響していると思われる。悩みを持つ人が4割強、悩みは、自分の性格、能力、また進路等の将来不安が多くを占めたものの、内容については多岐にわたる。相談相手は、友人、先輩、後輩、家族が多く、本学の教員、カウンセラーは少数であった。カウンセリングの利用方法や、オフィスアワーの認知度が低いことが悩ましい。

2. 特筆すべき事項

そもその問題として、このアンケートの回収率を上げる必要がある。また、ダイバーシティ・インクルージョン宣言、ハラスメント相談窓口の認知度向上は喫緊の課題である。

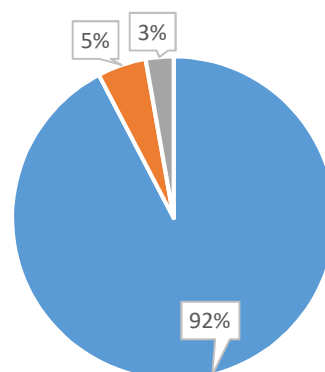
07 あなたは、健康だと思いますか

健康だと思う	226
不健康だと思う	61
計	287



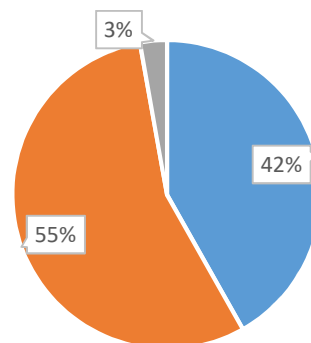
08 あなたは、喫煙の経験がありますか

喫煙の経験はない	265
喫煙の経験はあるが、現在は喫煙していない	14
現在、喫煙している	8
計	287



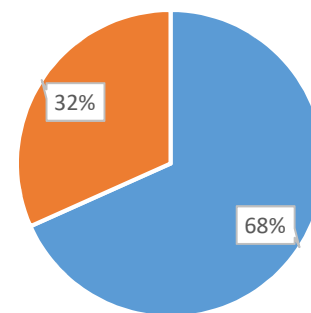
09 あなたは、お酒を飲みますか

全く飲まない	120
時々飲む	159
ほぼ毎日飲む	8
計	287



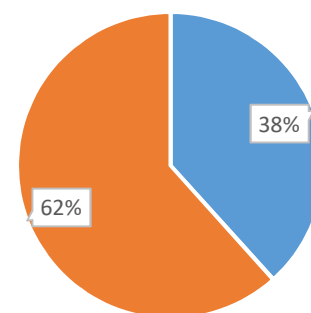
10 普段から健康に心掛けていますか

健康に心掛けている	196
健康に心掛けていない	91
計	287



11 カウンセリングの利用方法を知っていますか

はい	110
いいえ	177
計	287



カテゴリ名：

「D. 現在の悩みについて」

調査項目：

- 12 現在、悩んでいる問題がありますか
- 13 悩んでいる問題は何ですか【複数選択可】
- 14 悩みの相談相手は【複数選択可】
- 15 本学が実施しているオフィスアワー制度について

1. 全体の傾向

「現在、悩んでいる問題」について、回答した学部学生（287名）の約4割が「ある」としており、「将来、進路（就職・進学）」（24%）、「自分の性格・能力」（19%）、「学業」（9%）についてのことが上位の3つであった。「悩みの相談相手」は、「友人・先輩・後輩」（41%）、「家族・親戚」（28%）、「恋人・配偶者」（10%）が上位の3つであった。

「オフィスアワー制度」については、回答の約6割が「制度の内容は知っているが、利用したことはない」であった。「制度を知らない」という回答が約3割で、「利用したことがある」という回答は1割にとどまった。

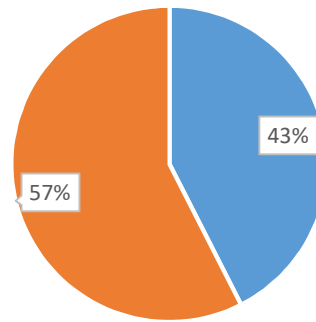
2. 特筆すべき事項

「経済的なことについて」悩んでいる学生も少なくない（29名、8%）ことは留意しておくべき点であろう。「ハラスメントについて」悩んでいる学生がいることや、「悩みの相談相手」が「いない」と回答した学生が16名（7%）いることなども看過しがたい。

また、「オフィスアワー制度」について、「利用したことがある」という回答が1割、「制度の内容は知っているが、利用したことはない」という回答が約6割という結果を踏まえると、周知ばかりでなく、制度自体のニーズや、より効果的な運用方法などについても検討していく必要があるものと思われる。

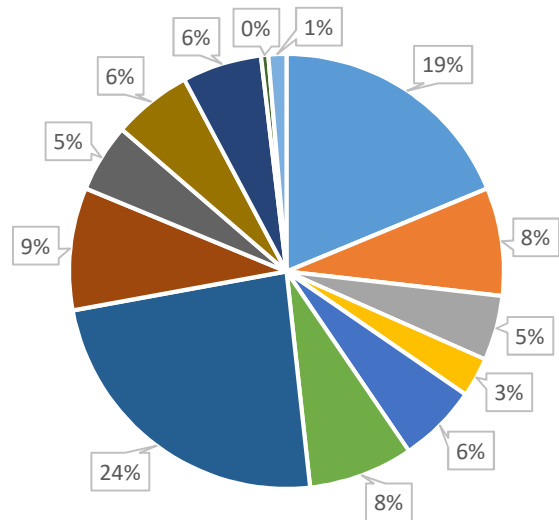
12 現在、悩んでいる問題はありますか

ある	122
ない	165
計	287



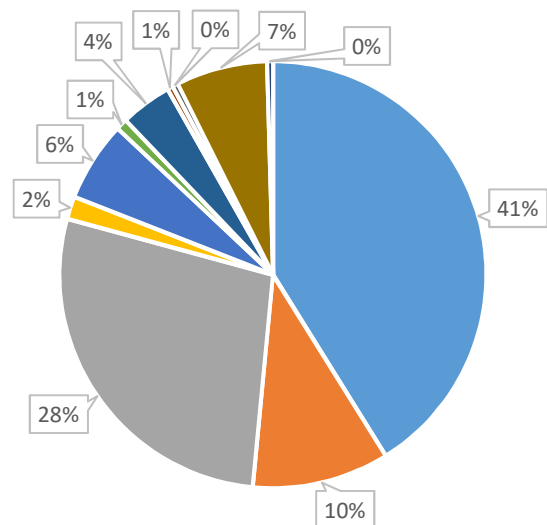
13 悩んでいる問題は何ですか【複数選択可】

自分の性格・能力について	70
自分の健康について	30
友達に関すること	18
本学の教職員に関すること	11
家族について	22
経済的なことについて	29
将来、進路（就職・進学）について	89
学業について	34
課外活動（クラブ活動・ボランティア活動等）について	19
アルバイトについて	22
恋愛について	22
ハラスメントについて	2
その他	5
計	373



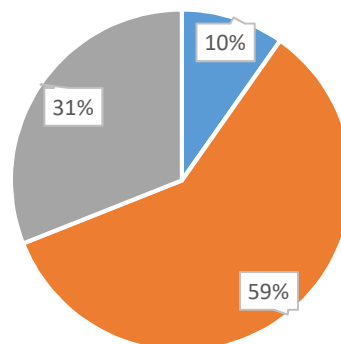
14 悩みの相談相手は【複数選択可】

友人・先輩・後輩	95
恋人・配偶者	24
家族・親戚	64
出身学校の恩師	4
本学の教員	14
本学の事務職員	2
本学の学生相談員・カウンセラー	9
本学のハラスメント相談員	1
学外のカウンセラー	1
いない	16
その他	1
計	231



15 本学が実施しているオフィスアワー制度について

利用したことがある	28
制度の内容は知っているが、利用したことはない	170
制度を知らない	89
計	287



カテゴリ名：

「E. ハラスメント、人権問題等について」

調査項目：

- 16 奈良教育大学ダイバーシティ・インクルージョン宣言について
- 17 本学が設置するハラスメント相談窓口（ハラスメント相談員）について
- 18 現在又は過去に学内でハラスメントを受けたことはありますか。ある場合は、
受けたことがあるハラスメントを選択してください【複数選択可】
- 19 ハラスメントを受けた相手は誰ですか【複数選択可】
- 20 ハラスメントを受けた時、そのことを誰かに相談しましたか【複数選択可】
- 21 ハラスメントに対する対応策を講じましたか【複数選択可】
- 22 ハラスメントを受けたことにより、あなた自身にどのような不利益や影響が
ありましたか【複数選択可】
- 23 現在又は過去に学内でハラスメントの相談を受けた、又は見聞きしたことがあ
りますか。ある場合は、相談を受けた又は見聞きしたハラスメントを選択して
ください【複数選択可】
- 24 本学において、個人の人権に関わって、「差別的な取り扱いである」、「改善
すべきである」といった課題には何があると思いますか【複数選択可】
- 25 上記回答について、具体的な内容を入力してください
- 26 ハラスメント、人権問題等に関して、大学への意見・要望等を自由に入力して
ください

1. 全体の傾向

奈良教育大学ダイバーシティ・インクルージョン推進宣言を聞いたことがない学部生は45%であり、前回令和3年度調査時において60%を超えていたことを踏まえると認知度は上がっているが、内容を理解している学部生は12%にとどまっていることから、さらなる周知が必要である。また、相談窓口を知らない学部生が60%（前回57%）おり、こちらもさらなる周知が必要である。

「ハラスメントを受けたことがない」と回答した学部生は91%（前回94%）であり、「何らかのハラスメントを見聞きしたことがある」と回答した学部生は25%（前回14%）であった。ハラスメントを受けた相手は「教員」が最も多く、5割を占める結果となった。

ハラスメントへの対応策として「拒否や抗議をした」と比較的積極的に対処したのは9%にとどまっている。「誰かに相談した」と回答した場合の相談相手は「友人・先輩」（54%）、「家族」（21%）がほとんどであり、「本学のハラスメント相談員」は4%とかなり低く、ハラスメント相談員の認知度が低いことが影響している可能性は否定できない。ハラスメントを受けた者のうち「特に影響はなかった」と回答した学部生は13%であり、多くの場合不利益や影響を受けていることが確認された。

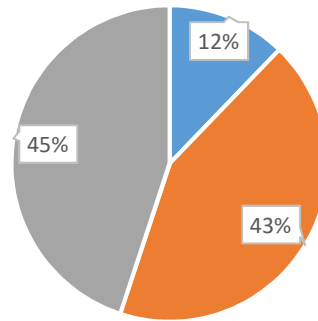
差別的・改善すべきと感じている事柄について、「バリアフリーなど、大学の設備に関わる問題」、「教員・事務職員の発言・態度に関わる問題」、「学生同士の発言・態度に関わる問題」、「性差に関わる問題」が上位を占めた。前回調査で最上位だった「インターネット上でも問題」は上位から外れた。なお、「バリアフリーなど、大学の設備に関わる問題」については、具体的な記述を確認すると、個人の人権に関わらない事項が一部含まれていることを考慮する必要がある。

2. 特筆すべき事項

「ハラスメントを受けたことがない」と回答した学部生は減少し、「何らかのハラスメントを見聞きしたことがある」と回答した学部生は増加しているが、相談相手として「大学のハラスメント相談員」(4%)、「教員」(0%)、「事務職員」(0%)がほとんど選択されていないことは特筆すべきである。新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されて大学に出向くことが増え、ハラスメントに接する可能性が増えているにも関わらず、コロナ禍で大学教職員との関係が希薄になり、現在も気軽に相談しづらい状況が続いている可能性が推察される。

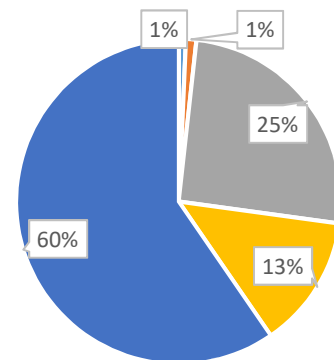
16 奈良教育大学ダイバーシティ・インクルージョン宣言について

知っているし、内容を理解している	35
聞いたことはあるが、内容は理解していない	123
聞いたことがない	129
計	287



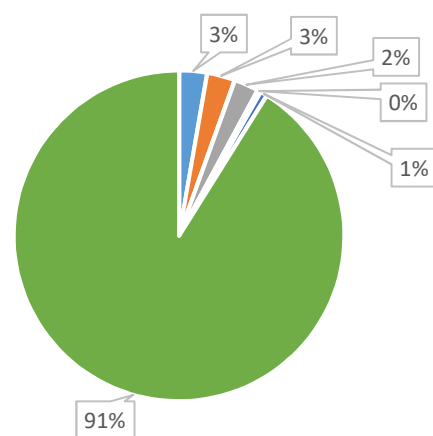
17 本学が設置するハラスメント相談窓口（ハラスメント相談員）について

知っているし、利用したこともある	2
知っているが、利用しづらい	3
知っているが、利用する必要がない	73
知っているが、相談員が誰なのかは知らない	38
知らない	171
計	287



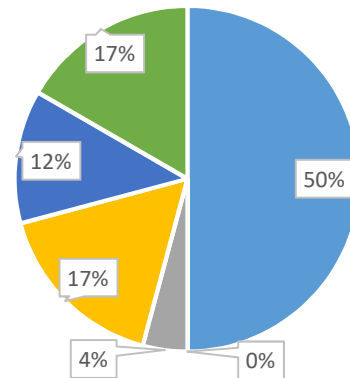
18 現在又は過去に学内でハラスメントを受けたことはありますか。ある場合は、受けたことがあるハラスメントを選択してください【複数選択可】

セクシャル・ハラスメント（不快に感じる性的な言動等）	8
パワー・ハラスメント（上下関係を利用した嫌がらせ等）	8
アカデミック・ハラスメント（教育・研究指導における嫌がらせ）	7
アルコール・ハラスメント（飲酒の強要）	1
その他（SNSを含む）執拗ないやがらせ	2
ハラスメントを受けたことはない	266
計	292



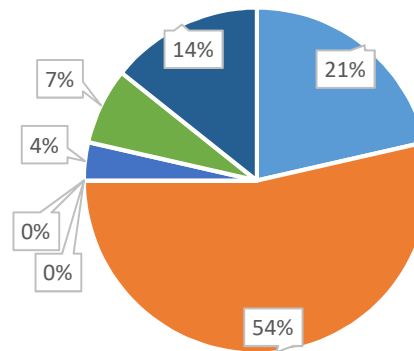
19 ハラスメントを受けた相手は誰ですか【複数選択可】

教員	12
事務職員	0
所属する研究室の学生	1
所属するサークルの学生	4
所属する研究室・サークル以外の学生	3
その他	4
計	24



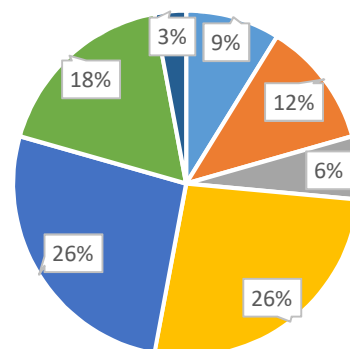
20 ハラスメントを受けた時、そのことを誰かに相談しましたか【複数選択可】

家族	6
友人・先輩	15
教員	0
事務職員	0
本学のハラスメント相談員	1
その他	2
誰にも相談していない	4
計	28



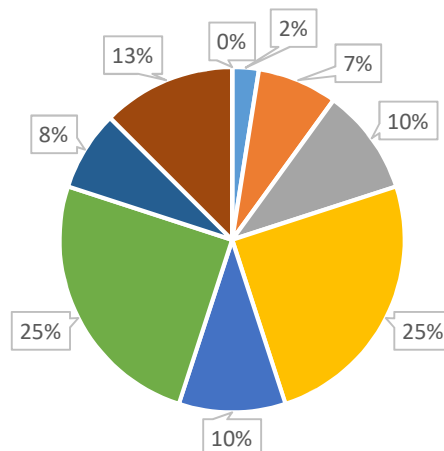
21 ハラスメントに対する対応策を講じましたか【複数選択可】

拒否や抗議をした	3
無視した	4
冗談ですませようとした	2
考えないようにした	9
相手を避けようとした	9
特に何もしなかった	6
その他	1
計	34



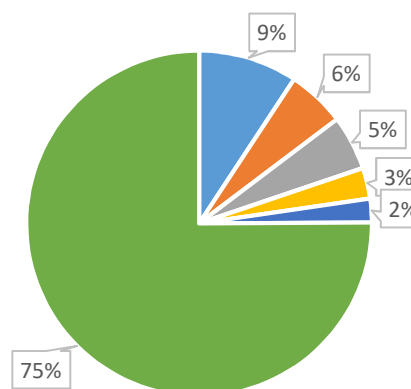
22 ハラスメントを受けたことにより、あなた自身にどのような不利益や影響がありましたか【複数選択可】

進路の決定や成績の判定で不利な扱いを受けた	1
サークルや研究室で仲間はずれ等をされ人間関係が悪くなった	3
相手との接触を避けたことにより、活動・行動範囲が制限された	4
大学へ行くのが嫌になった	10
勉強（研究）する気がなくなった	4
憂鬱感、不安感など精神的に不安定になった	10
不眠や食欲不振など体調を崩した	3
特に影響はなかった	5
その他	0
計	40



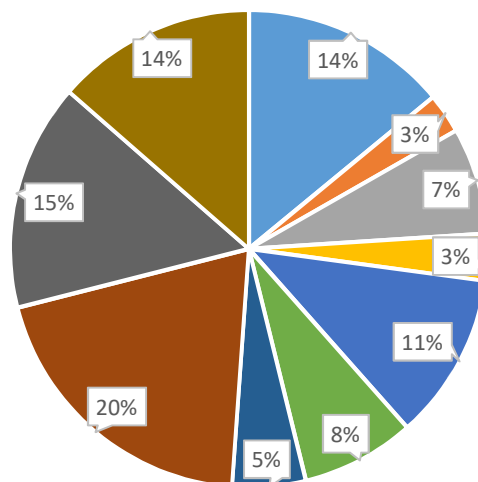
23 現在又は過去に学内でハラスメントの相談を受けた、又は見聞きしたことがありますか。ある場合は、相談を受けた又は見聞きしたハラスメントを選択してください【複数選択可】

セクシャル・ハラスメント	29
パワー・ハラスメント	17
アカデミック・ハラスメント	16
アルコール・ハラスメント	9
その他（SNSを含む）執拗ないやがらせ	7
相談を受けたことがない又は見聞きしたことがない	235
計	313



24 本学において、個人の人権に関わって、「差別的な取り扱いである」、「改善すべきである」といった課題には何があると思いますか
【複数選択可】

性差に関わる問題	31
留学生に関わる問題	6
障害者に関わる問題	16
部落差別に関わる問題	7
インターネット上での問題	25
プライバシーに関わる問題	17
ハラスメントに関わる問題	11
バリアフリーなど、大学の設備に関わる問題	44
教員・事務職員の発言・態度に関わる問題	34
学生同士の発言・態度に関わる問題	30
計	221



カテゴリ名：

「F. 課外活動（サークル活動等）と学内における生活の状況について」

調査項目：

- 27 現在、学内外のサークル等へ加入していますか
- 28 加入しているサークル等を選択してください。【複数選択可】
- 29 サークルに入った目的は何ですか【複数選択可】
- 30 加入していない理由は何ですか【複数選択可】
- 31 大学祭「輝薨祭」に参加したことがありますか
- 32 次の項目について、あなたの満足度を選択してください。
 - ① 大学における生活全般 ② 体育・課外活動施設
 - ③ 学生食堂などの福利厚生施設 ④ 駐輪場、バイク置き場 ⑤ 教室設備
 - ⑥ コンピューター施設 ⑦ 事務窓口の応対 ⑧ 進路・就職の支援体制
 - ⑨ 保健管理体制 ⑩ 学生相談体制 ⑪ 掲示板・メール等の学生連絡体制
- 33 学生生活についての意見・要望等を自由に入力してください。

1. 全体の傾向

アンケートに返答した学部生の約 6 割が学内のサークルに加入し、その半分弱が体育会系サークルへの加入している。サークルへの参加動機としては、「高校からやっているから」、「友達が欲しかったから」、「知識・技術を身に付けたかったから」といった回答が多かった。一方、サークルに加入していない学生の理由としては、「入りたいサークルが無い」、「他にやりたいことがあるため」、「通学に時間がかかるため」といった理由が多かった。

大学祭に「企画・イベント等の一員として参加した」、「役員として参加した」という回答を合わせると半数を超えた。一方、参加しなかった学生は、1/4 程度であった。

満足度の調査では、生活全般や支援体制に関わる設問で、「大いに満足」、「やや満足」を多くの学生が選んでいた。施設に関しては、教室設備やコンピューター施設の満足度は高かった。一方、課外活動施設・福利厚生施設・駐輪場等の満足度は、それと比較して低い傾向がみられた。

2. 特筆すべき事項

前回の調査では新型コロナウイルス感染症の影響もあったのか、大学祭への参加が少なかったが、今回はだいぶ多くなっている点が印象的であった。

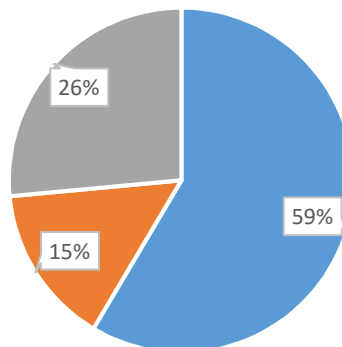
自由記述では、生協の営業時間を延ばして欲しいという意見が多数みられた。また、生協食堂等の福利厚生施設への満足度も低かった。本学は生協が学生食堂と購買を経営しているが、大学としても何か対策を考える必要があると考える。他には、課外活動施設等への空調設置や、教室のコンセントを増やして欲しいと言った要望が見られた。さらに、教室等の

掃除が行き届いていないとの記述もいくつかあり、講義等内へのゴミ箱や掃除道具の設置、掃除のボランティアの企画を立てるといった対策案も提示されていた。

情報関連に関しては、WiFiの入りが悪い場所があること、自分に関係のない学内メールが多数届くので対象者を絞って配信して欲しいという意見がいくつか見られた。

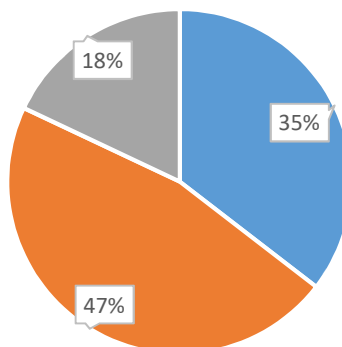
27 現在、学内外のサークル等へ加入していますか

加入している	168
以前は加入していたが、現在は加入していない	43
全く加入したことがない	76
計	287



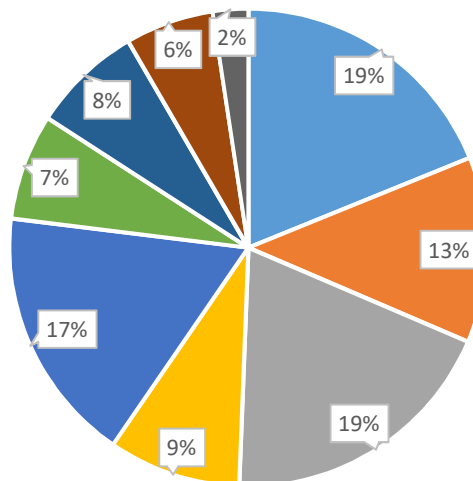
28 加入しているサークル等を選択してください。【複数選択可】

文化系サークル	67
体育系サークル	88
その他のサークル・ボランティアグループ	34
計	189



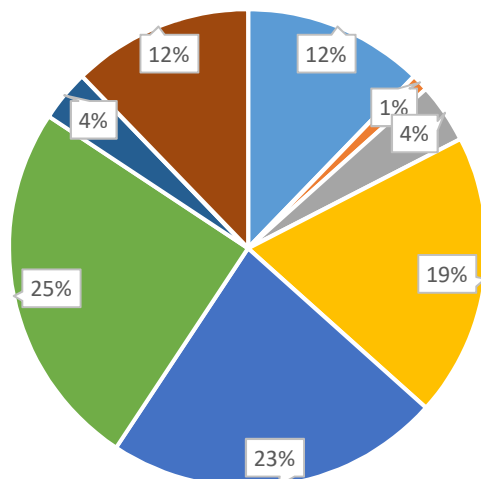
29 サークルに入った目的は何ですか【複数選択可】

高校からやっているから	63
団体活動がしたかったから	42
友達が欲しかったから	64
身体を鍛えたいと思ったから	30
知識・技術を身に付けたかったから	58
就職に役立つと思ったから	24
余暇利用のため	25
先輩に勧誘されたから	20
その他	8
計	334



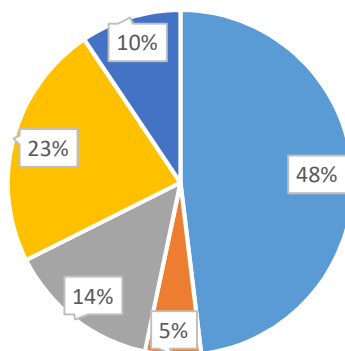
30 加入していない理由は何ですか【複数選択可】

学業に専念したいため	21
健康上の理由	2
経済的事情	7
通学に時間がかかるため	33
他にやりたいことがあるため	39
入りたいサークルが無いため	43
サークル運営に不満があるため	6
その他	21
計	172



31 大学祭「輝薨祭」に参加したことがありますか

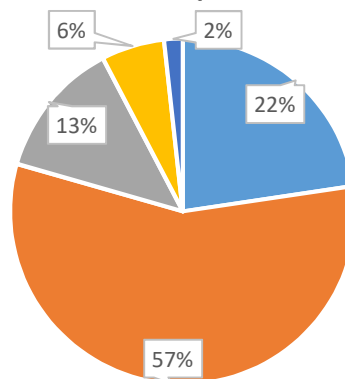
企画・イベント等の一員として参加した	138
役員として参加した	15
企画・イベント等を見たり聞いたりしてまわった	41
参加しなかった	66
在学中に、まだ開催されていない	27
計	287



32 次の項目について、あなたの満足度を選択してください。

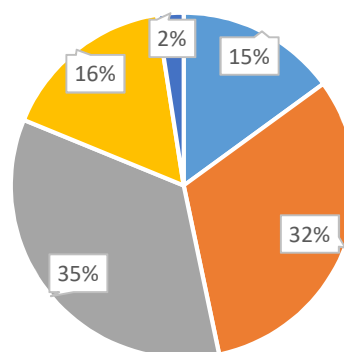
① 大学における生活全般

大いに満足	65
やや満足	163
どちらとも言えない	37
やや不満	17
大いに不満	5
計	287



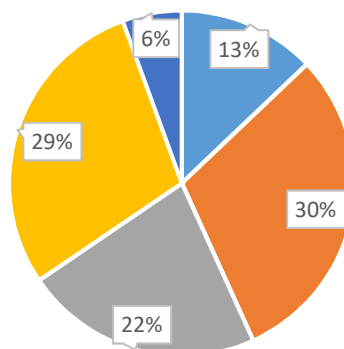
② 体育・課外活動施設

大いに満足	43
やや満足	91
どちらとも言えない	99
やや不満	47
大いに不満	7
計	287



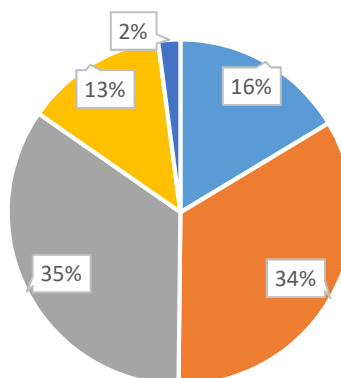
③ 学生食堂などの福利厚生施設

大いに満足	37
やや満足	87
どちらとも言えない	64
やや不満	83
大いに不満	16
計	287



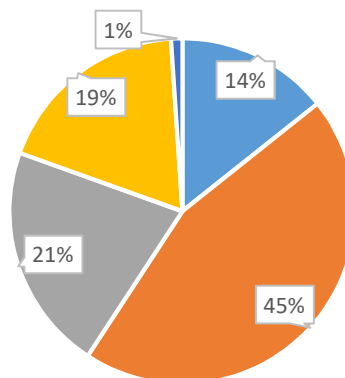
④ 駐輪場、バイク置き場

大いに満足	47
やや満足	97
どちらとも言えない	99
やや不満	38
大いに不満	6
計	287



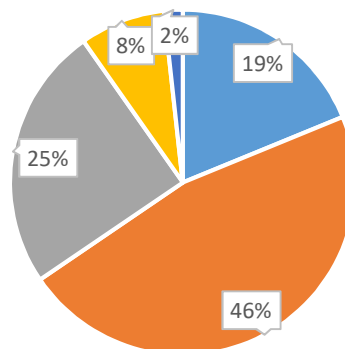
⑤ 教室設備

大いに満足	41
やや満足	129
どちらとも言えない	61
やや不満	53
大いに不満	3
計	287



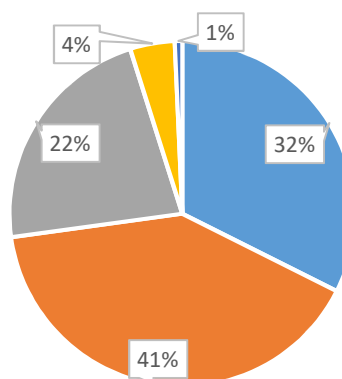
⑥ コンピューター施設

大いに満足	54
やや満足	134
どちらとも言えない	71
やや不満	23
大いに不満	5
計	287



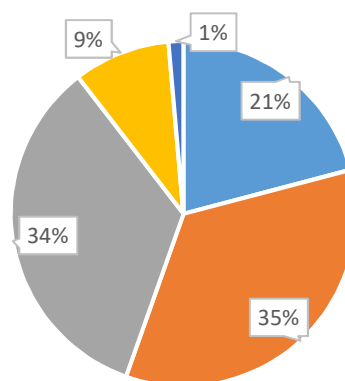
⑦ 事務窓口の対応

大いに満足	93
やや満足	116
どちらとも言えない	64
やや不満	12
大いに不満	2
計	287



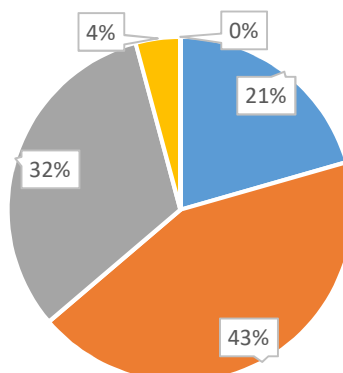
⑧ 進路・就職の支援体制

大いに満足	60
やや満足	99
どちらとも言えない	98
やや不満	26
大いに不満	4
計	287



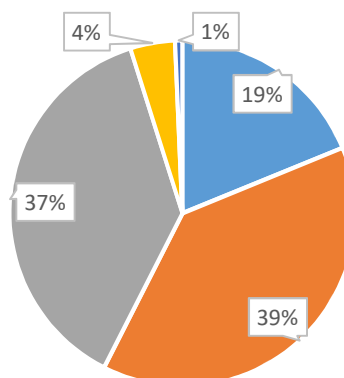
⑨ 保健管理体制

大いに満足	59
やや満足	124
どちらとも言えない	92
やや不満	12
大いに不満	0
計	287



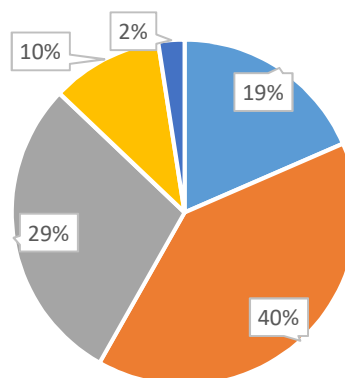
⑩ 学生相談体制

大いに満足	54
やや満足	111
どちらとも言えない	108
やや不満	12
大いに不満	2
計	287



⑪ 掲示板・メール等の学生連絡体制

大いに満足	53
やや満足	114
どちらとも言えない	83
やや不満	30
大いに不満	7
計	287



カテゴリ名：

「G. ボランティア活動について」

調査項目：

- 34 本学入学以降のボランティア活動について
- 35 あなたが参加したボランティア活動は【複数選択可】
- 36 あなたが今後参加してみたいボランティア活動は【複数選択可】
- 37 ボランティア活動を行うことで期待する（した）ことは、何ですか【複数選択可】
- 38 ボランティア活動に参加しない理由は何ですか【複数選択可】

1. 全体の傾向

ボランティア活動について、「参加している」43%と「今後参加するつもり」19%を合わせて「活動する」が全体の6割程度である。また、参加したボランティア活動は、「学校ボランティア」が42%、「地域社会」が18%、「社会福祉」が16%であった。前回の調査と比べると今年度は地域社会と社会福祉が増加した。参加してみたいボランティア活動は、「参加した活動」と同様の傾向がみられた。

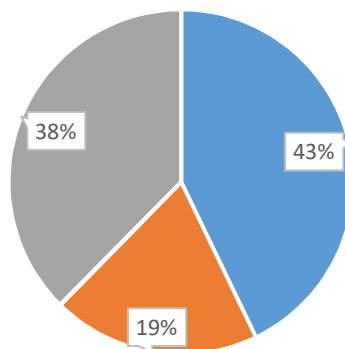
ボランティア活動を行うことで期待することは、「人や社会の役に立つこと」が2割、「人生（社会）経験が豊富になること」が3割で、「将来の進路にプラスになること」が2割であった。ボランティア活動に参加しない理由は、「時間に余裕がない」が4割で「他にやりたいことがある」と「興味がない」がそれぞれ2割程度であった。

2. 特筆すべき事項

「参加したボランティア活動」では「学校ボランティア」が最も割合が高い。また、「ボランティア活動を行うことで期待すること」では「人生（社会）経験が豊富になること」と「将来の進路にプラスになること」の割合が高いことから、「ボランティア活動」を教員就職・採用試験に向けた「活動」としている学生も多いのではないかと考えられる。

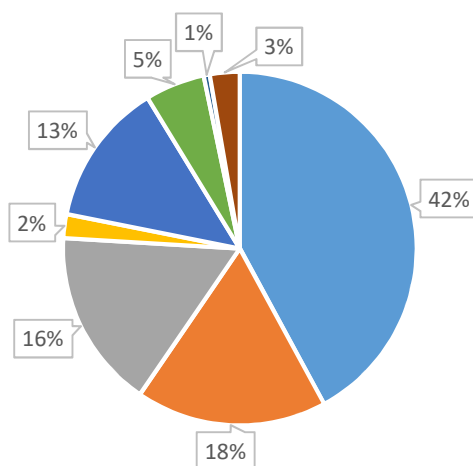
34 本学入学以降のボランティア活動について

参加している、参加したことがある	123
参加したことはないが、今後参加するつもりである	56
参加したことがなく、今のところ参加するつもりはない	108
計	287



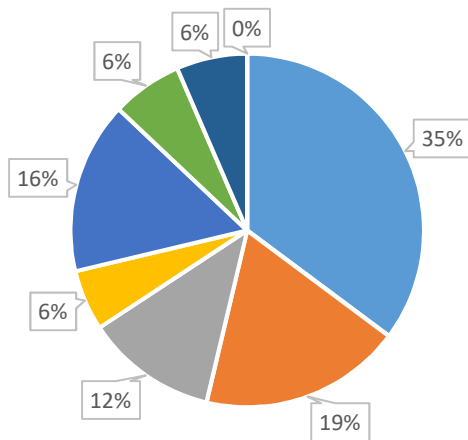
35 あなたが参加したボランティア活動は【複数選択可】

学校ボランティア	77
地域社会に関するもの（まちづくり、交通安全など）	32
社会福祉に関するもの（子育て支援、障がい者支援など）	30
環境保全に関するもの	4
文化・スポーツに関するもの	24
国際交流に関するもの	10
災害時救援に関するもの	1
その他	5
計	183



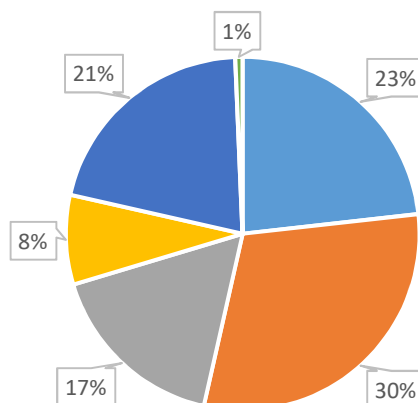
36 あなたが今後参加してみたいボランティア活動は【複数選択可】

学校ボランティア	38
地域社会に関するもの（まちづくり、交通安全など）	20
社会福祉に関するもの（子育て支援、障がい者支援など）	13
環境保全に関するもの	6
文化・スポーツに関するもの	17
国際交流に関するもの	7
災害時救援に関するもの	7
その他	0
計	108



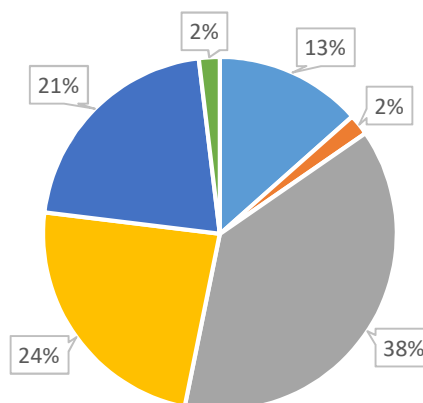
37 ボランティア活動を行うことで期待する（した）ことは、何ですか【複数選択可】

人や社会の役に立つこと	105
人生（社会）経験が豊富になること	137
程度の差はあるが、自分の勉強に直接役にたつこと	76
自分の生活に充実感が増すこと	37
将来の進路にプラスになること	94
その他	3
計	452



38 ボランティア活動に参加しない理由は何ですか【複数選択可】

学業に専念したいため	21
健康上の問題	3
時間に余裕がないため	59
他にやりたいことがあるため	37
興味がないため	33
その他	3
計	156



カテゴリ名：

「H. 図書館の利用について」

調査項目：

- 39 図書館をどのくらい利用しますか
- 40,41 利用する目的は、何ですか
- 42 図書館資料、サービス及び施設・設備面に満足していますか？
- 43 必要とする図書館資料がない場合に利用できるサービス（リクエスト制度・ブックハンティング、他大学図書館等からの取り寄せ）があることを知っていますか。
- 44 図書館について、ご意見等があれば自由に入力してください

1. 全体の傾向

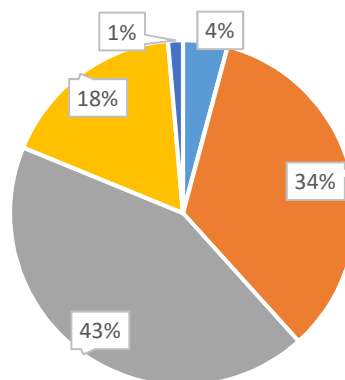
図書館の利用頻度については、「月1回以上」（43%）が最も多かった。前回調査と比較して、「週1回以上利用する」が増え（24.9%→34%）、「年数回利用する」が大幅に減った（32.5%→18%）ので、コロナ禍を経て、図書館を利用する機会が戻りつつあると言える。利用する目的については、「個人の学習・研究のため」が36%と最も多く、次いで「閲覧・貸出のため」が29%、「パソコンを利用するため」「友人同士やゼミでのグループ学習・研究のため」が7%となっている。前回調査では「閲覧・貸出のため」が最も多く、「個人の学習・研究のため」が次点であったため、コロナ禍の時期より図書館内で課題を行うなど、館内の滞在時間が増えたのかもしれない。また、前回調査時より、「パソコンを利用するため」とした回答が減少傾向であったが、今回も同様に、この傾向は変わらなかった。

2. 特筆すべき事項

「必要とする図書館資料がない場合に利用できるサービス（リクエスト制度・ブックハンティング、他大学図書館等からの取り寄せ）の両方を知っている」とした割合が38%と最も多かった。ただ、「知ってはいるが、使い方が分からない」との意見もあることから、ガイダンス時だけに限らず、折を見て周知に努めたい。

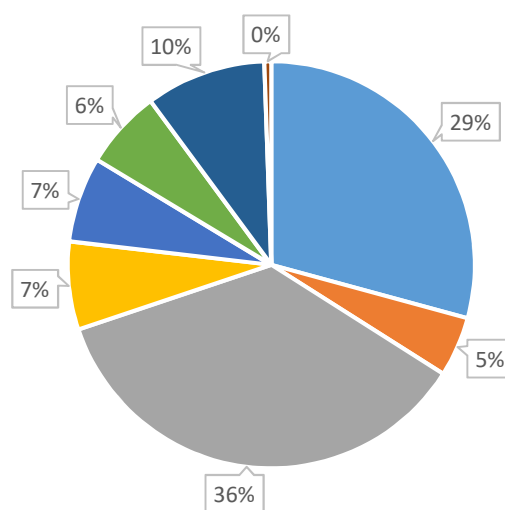
39 図書館をどのくらい利用しますか

毎日利用する	12
週1回以上利用する	98
月1回以上利用する	123
年数回利用する	50
利用したことがない	4
計	287



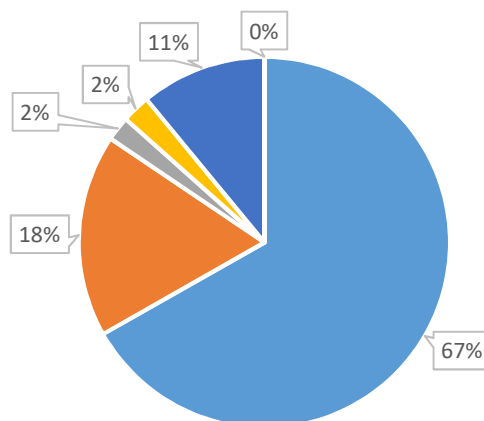
40,41 利用する目的は、何ですか

資料（図書・雑誌・新聞等）の閲覧・貸出のため	159
文献複写のため	26
個人の学習・研究のため（予習・復習・試験勉強等）	195
友人同士やゼミでのグループ学習・研究のため	38
パソコンを利用するため	37
気分転換	34
授業等の間の時間調整	52
その他	3
計	544



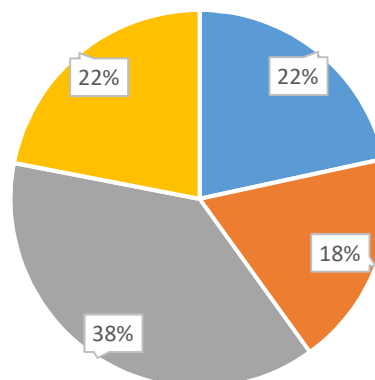
42 図書館資料、サービス及び施設・設備面に満足していますか？

満足している	189
図書館資料に不満がある（見たい図書・雑誌が少ないなど）	50
サービスに不満がある	6
施設・設備に不満がある	7
満足・不満のどちらでもない	31
その他	0
計	283



43 必要とする図書館資料がない場合に利用できるサービス（リクエスト制度・ブックハンティング、他大学図書館等からの取り寄せ）があることを知っていますか。

リクエスト制度・ブックハンティングを知っている	62
他大学図書館等からの取り寄せサービスを知っている	53
2 つとも知っている	109
2 つとも知らない	63
計	287



カテゴリ名：

「I. 情報館の利用について」

調査項目：

45 共同利用 PC に満足していますか

46 利用時間に満足していますか

47 情報館について、ご意見等があれば自由に入力してください

1. 全体の傾向

共同利用 PC の満足度は半数が満足している。利用時間に対する満足度も同様に半数が満足としている。

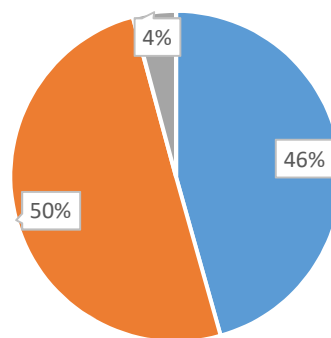
自由記述の多くは、利用時間延長や休祝日利用に関する要望、共同利用パソコンの起動に時間がかかることに関するものであった。操作方法については、共同利用プリンターでわかりにくいとする意見が多かった。

2. 特筆すべき事項

一部、Wi-Fi が届かないエリアがあることを指摘されている。

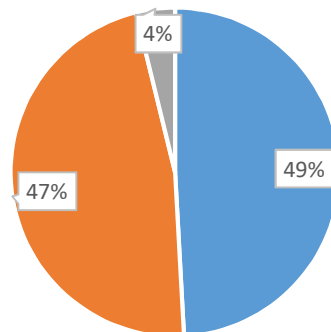
45 共同利用PCに満足していますか

満足している	131
どちらともいえない	144
不満である	12
計	287



46 利用時間に満足していますか

満足している	141
どちらともいえない	135
不満である	11
計	287



カテゴリ名：

「J. 教育資料館について」

調査項目：

48 教育資料館の常設展・企画展を見学したことがありますか

49 教育・研究成果や課外活動の発表の場として、教育資料館を利用できることを知っていますか

1. 全体の傾向

「教育資料館の常設展・企画展」について、「見学したことがある」は約46%、「発表の場として教育資料館を利用できることを知っている」が約26%となっていることから、見学したことはあるが、学生自身が発表の場として利用できることが知られていないことが読み取れる。

2. 特筆すべき事項

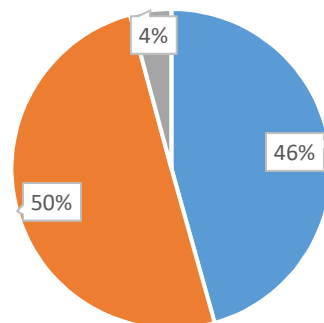
「知っているが見学などをしたことがない」が約50%、「発表の場として教育資料館を利用できることを知らない」が約74%を占めていることから、どのような展示を行っているか、どうすれば自分たちの成果発表する場所として利用できるか、広く広報することが必要であろう。

企画展の広報は、現在、教育資料館ホームページ、教職員・学生向け掲示板、その他学内へのポスター掲出により行っており、企画展の募集は、例年4月に教職員と学生に向けて案内を行っている。複数回の案内を重ねることで企画展の広報を充実させることができる可能性はある。

なお、令和4年度における教育資料館の来館者数（学生、教職員、一般の総数）のうち、約45%は企画展（計4回）への来館者（令和5年4月～12月は約67%）であることから、教育資料館への来館者は年間を通じて企画展への関心が高いことが分かっている。企画展の広報を充実させるとともに、企画展への来訪をとおして、企画の主体となる学生への動機付けを行い、教育資料館の一層の活用を図る。

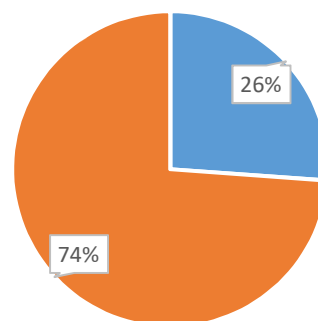
48 教育資料館の常設展・企画展を見学したことがありますか

見学したことがある	131
知っているが見学などをしたことがない	144
見学したことがない	12
計	287



49 教育・研究成果や課外活動の発表の場として、教育資料館を利用できることを知っていますか

知っている	75
知らない	212
計	287



カテゴリ名：

「K. 経済状況について」

調査項目：

- 50 1ヶ月あたりの平均収入額を選択してください。（家庭からの給付、仕送り、小遣い等）
- 51 1ヶ月あたりの平均収入額を選択してください。（奨学金）
- 52 1ヶ月あたりの平均収入額を選択してください。（アルバイト収入）
- 53 1ヶ月あたりの平均支出額の合計を選択してください。（食費、勉学費、娯楽費、通信費、下宿の場合の住居・光熱水費等、すべての合計額）
- 54 自分の経済状況について、どのように感じていますか。
- 55 奨学金、授業料免除（減免）、アルバイトなど経済生活に関する要望・意見等を自由に入力してください

1. 全体の傾向

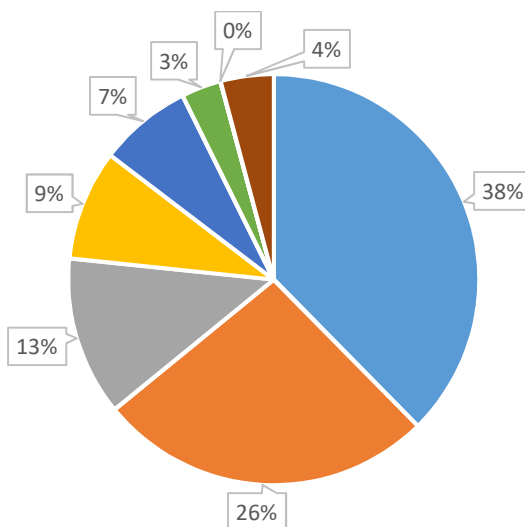
1ヶ月あたりの平均収入額（家庭からの給付、仕送り、小遣い等）において、「なし」の回答が最も多く（38%）、次いで「3万円未満」（26%）であった。1ヶ月あたりの平均収入額（奨学金）において、「なし」の回答が最も多く（62%）、次いで「3～5万円未満」（11%）であった。1ヶ月あたりの平均収入額（アルバイト収入）において、「3～5万円未満」の回答が最も多かったが（25%）、「3万円未満」（23%）、「5～7万円未満」（20%）と回答したものとあまり差はなかった。1ヶ月あたりの平均支出額の合計において、「5～10万円未満」の回答が最も多く（27%）、次いで「3～5万円未満」（24%）であった。自分の経済状況について、どのように感じていますか。という質問においては、「どちらとも言えない」の回答が最も多く（28%）、次いで「やや苦しい」（23%）、「やや余裕がある」（22%）であった。自由記述において、前回の調査同様に奨学金や授業料免除の広報、成績優秀者に対するインセンティブなどが挙げられていた。

2. 特筆すべき事項

月平均収入額において、約9割（87%）の学部学生がアルバイトで収入を得ており、そのうち約5割（48%）が5万円未満であった。自由記述において、前回の調査で見られたコロナ禍の影響でアルバイト収入が減少しているといった記述はなくなった。しかし、「アルバイトをしないと生活できない」、「食堂や購買を少し値下げしてほしい」、「フードパントリーなどを増やしてほしい」、「授業料免除を受けられる範囲を広げてほしい」といった意見が挙げられており、自分の経済状況において約4割（38%）が「やや苦しい」、「苦しい」と回答しているところを見ると、経済状況が苦しい学部学生は少なくないと推察される。

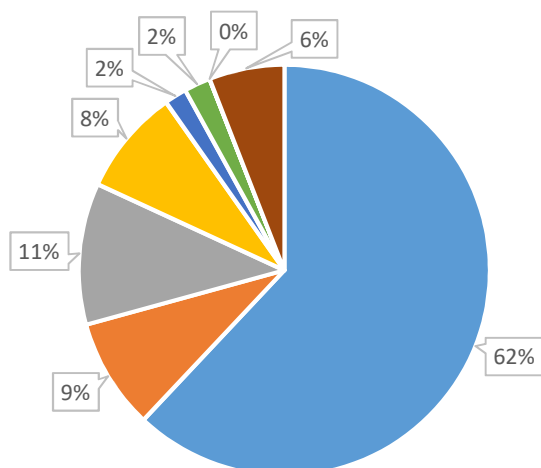
50 | 1ヶ月あたりの平均収入額を選択してください。（家庭からの給付、仕送り、小遣い等）

なし	108
3万円未満	76
3～5万円未満	36
5～7万円未満	25
7～10万円未満	21
10～20万円未満	9
20万円以上	0
答えたくない	12
計	287



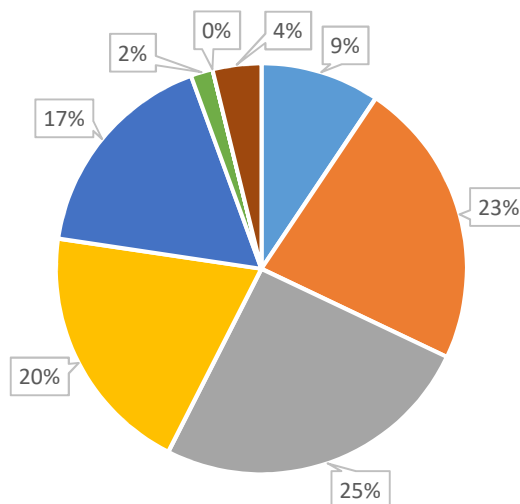
51 | 1ヶ月あたりの平均収入額を選択してください。（奨学金）

なし	178
3万円未満	25
3～5万円未満	32
5～7万円未満	24
7～10万円未満	5
10～20万円未満	6
20万円以上	0
答えたくない	17
計	287



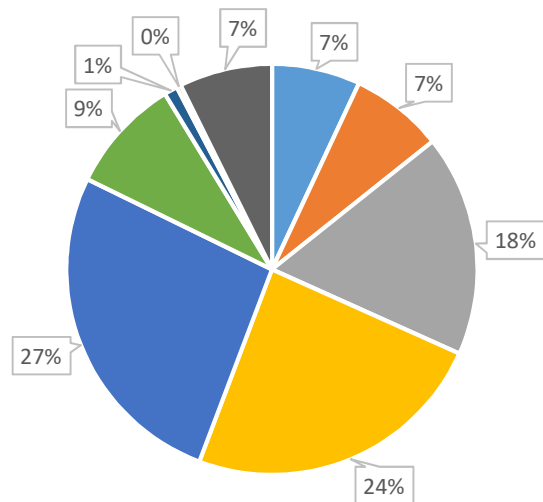
52 | 1ヶ月あたりの平均収入額を選択してください。（アルバイト収入）

なし	27
3万円未満	65
3～5万円未満	73
5～7万円未満	57
7～10万円未満	49
10～20万円未満	5
20万円以上	0
答えたくない	11
計	287



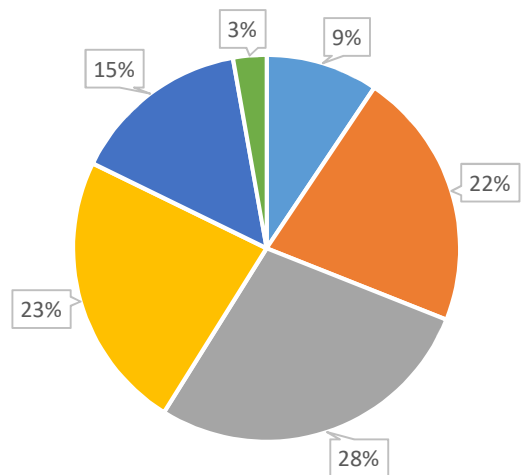
53 1ヶ月あたりの平均支出額の合計を選択してください。（食費、勉学費、娯楽費、通信費、下宿の場合の住居・光熱水費等、すべての合計額）

なし	20
1万円未満	21
1～3万円未満	50
3～5万円未満	69
5～10万円未満	76
10～15万円未満	26
15～20万円未満	3
20万円以上	1
答えたくない	21
計	287



54 自分の経済状況について、どのように感じていますか。

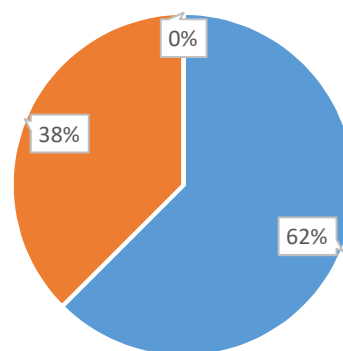
余裕がある	27
やや余裕がある	62
どちらとも言えない	80
やや苦しい	67
苦しい	43
答えたくない	8
計	287



(大 学 院)

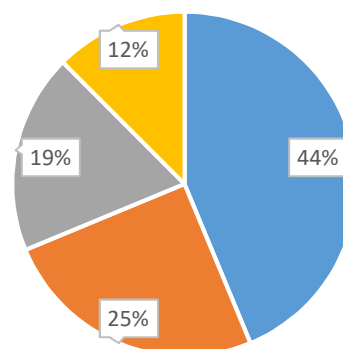
03 あなたの住居

自宅（家族と同居）	10
自宅外（学生寮を除く）	6
学生寮	0
計	16



04 通学に要する時間（片道）

30分未満	7
30分～1時間未満	4
1時間～2時間未満	3
2時間以上	2
計	16



カテゴリ名：

「D. 将来希望する進路について」

調査項目：

05 将来希望する進路について、お答えください

06 大学が実施する就職支援対策について、意見・要望等を自由に
入力してください

1. 全体の傾向

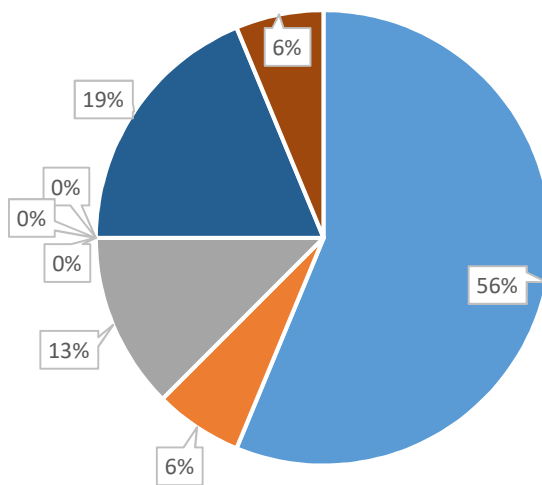
教員就職希望者の割合は 56%であった。ただし、回答数が少ないため統計上のぶれが生じている可能性があることも留意しなければならない。

2. 特筆すべき事項

自由記述では、「メールによる情報提供は良い」という意見があった。

05 将来希望する進路について、お答えください

教員（保育士含む）	9
公務員（教員を除く）	1
民間企業	2
民間の教育施設や福祉施設	0
自由業・家業を継ぐ	0
大学院へ進学	0
未定	3
その他	1
計	16



カテゴリ名：

「C. あなたの健康について」

調査項目：

- 07 あなたは、健康だと思いますか
- 08 あなたは、喫煙の経験がありますか
- 09 あなたは、お酒を飲みますか
- 10 普段から健康に心掛けていますか
- 11 カウンセリングの利用方法を知っていますか

1. 全体の傾向

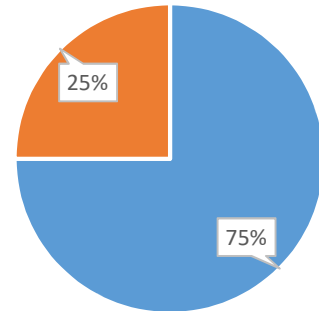
大学院については、母数が16人と少ないので、各々の設問に対して詳しく分析するのは控えるが、学部生の傾向と大きく変わるものではない。喫煙者率、飲酒者率は年齢的問題もあり、学部生に比べて上昇する。

2. 特筆すべき事項

学部生同様、本学の理念や制度に対する理解度の上昇が期待される。

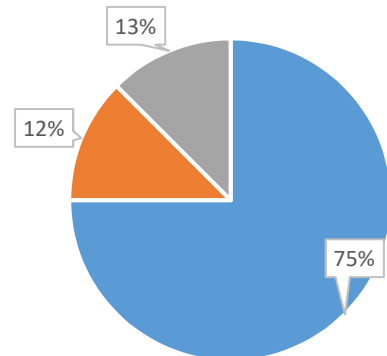
07 あなたは、健康だと思いますか

健康だと思う	12
不健康だと思う	4
計	16



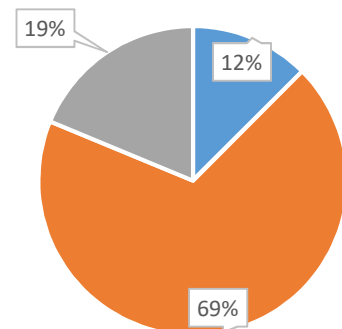
08 あなたは、喫煙の経験がありますか

喫煙の経験はない	12
喫煙の経験はあるが、現在は喫煙していない	2
現在、喫煙している	2
計	16



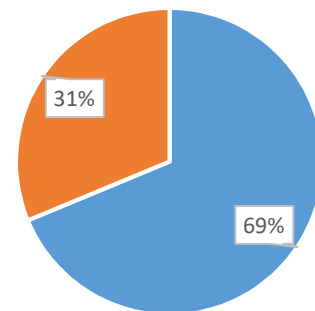
09 あなたは、お酒を飲みますか

全く飲まない	2
時々飲む	11
ほぼ毎日飲む	3
計	16



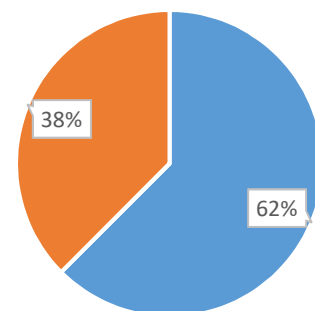
10 普段から健康に心掛けていますか

健康に心掛けている	11
健康に心掛けていない	5
計	16



11 カウンセリングの利用方法を知っていますか

はい	10
いいえ	6
計	16



カテゴリ名：

「D. 現在の悩みについて」

調査項目：

- 12 現在、悩んでいる問題がありますか
- 13 悩んでいる問題は何ですか【複数選択可】
- 14 悩みの相談相手は【複数選択可】
- 15 本学が実施しているオフィスアワー制度について

1. 全体の傾向

「現在、悩んでいる問題」について、回答した大学院生（16名）の約4割が「ある」としており、「自分の性格・能力」（5名、23%）、「将来、進路（就職・進学）」（4名、18%）、「恋愛」（3名、14%）が上位の3つであった。「悩みの相談相手」は、「友人・先輩・後輩」（4名、45%）、「家族・親戚」（2名、22%）が上位の2つで、それら以外に、「恋人・配偶者」、「本学の教員」、「いない」という回答（各1名）がみられた。

「オフィスアワー制度」については、回答の7割以上（12名）が「制度の内容は知っているが、利用したことはない」であった。「制度を知らない」、「利用したことがある」という回答（各2名）はそれぞれ約1割であった。

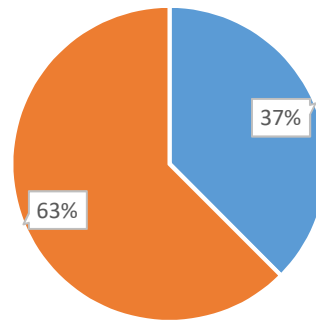
2. 特筆すべき事項

数が少なく傾向を見極めにくいところではあるが、上位の回答については学部とほぼ共通している。

「悩みの相談相手」について、「いない」という回答がみられること、「オフィスアワー制度」について、「制度の内容は知っているが、利用したことはない」という回答が大半を占めていることなどは、学部と同様、特筆すべき点として挙げられよう。

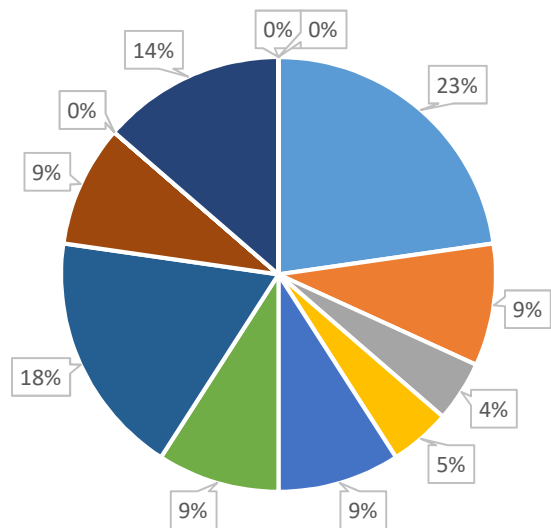
12 現在、悩んでいる問題はありますか

ある	6
ない	10
計	16



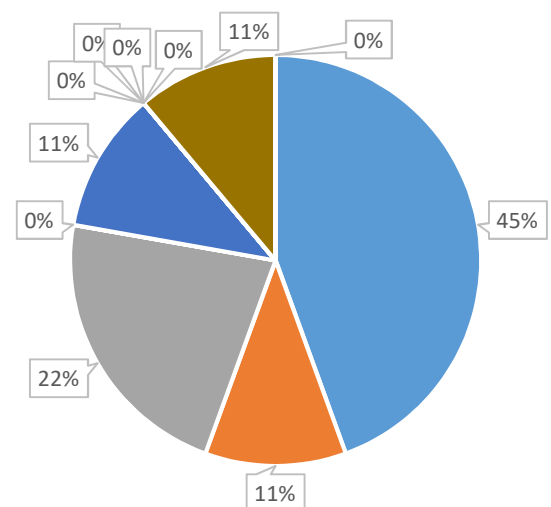
13 悩んでいる問題は何ですか【複数選択可】

自分の性格・能力について	5
自分の健康について	2
友達に関すること	1
本学の教職員に関すること	1
家族について	2
経済的なことについて	2
将来、進路（就職・進学）について	4
学業について	2
課外活動（クラブ活動・ボランティア活動等）について	0
アルバイトについて	0
恋愛について	3
ハラスメントについて	0
その他	0
計	22



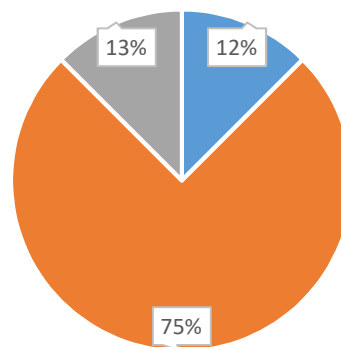
14 悩みの相談相手は【複数選択可】

友人・先輩・後輩	4
恋人・配偶者	1
家族・親戚	2
出身学校の恩師	0
本学の教員	1
本学の事務職員	0
本学の学生相談員・カウンセラー	0
本学のハラスメント相談員	0
学外のカウンセラー	0
いない	1
その他	0
計	9



15 本学が実施しているオフィスアワー制度について

利用したことがある	2
制度の内容は知っているが、利用したことはない	12
制度を知らない	2
計	16



カテゴリ名：

「E. ハラスメント、人権問題等について」

調査項目：

- 16 奈良教育大学ダイバーシティ・インクルージョン宣言について
- 17 本学が設置するハラスメント相談窓口（ハラスメント相談員）について
- 18 現在又は過去に学内でハラスメントを受けたことはありますか。ある場合は、受けたことがあるハラスメントを選択してください【複数選択可】
- 19 ハラスメントを受けた相手は誰ですか【複数選択可】
- 20 ハラスメントを受けた時、そのことを誰かに相談しましたか【複数選択可】
- 21 ハラスメントに対する対応策を講じましたか【複数選択可】
- 22 ハラスメントを受けたことにより、あなた自身にどのような不利益や影響がありましたか【複数選択可】
- 23 現在又は過去に学内でハラスメントの相談を受けた、又は見聞きしたことがありますか。ある場合は、相談を受けた又は見聞きしたハラスメントを選択してください【複数選択可】
- 24 本学において、個人の人権に関わって、「差別的な取り扱いである」、「改善すべきである」といった課題には何があると思いますか【複数選択可】
- 25 上記回答について、具体的な内容を入力してください
- 26 ハラスメント、人権問題等に関して、大学への意見・要望等を自由に入力してください

1. 全体の傾向

奈良教育大学ダイバーシティ・インクルージョン推進宣言を聞いたことがない大学院生は38%であり、前回令和3年度調査時と大きな変化はなく、内容を理解している大学院生は25%にとどまっていることから、さらなる周知が必要である。また、相談窓口を知らない大学院生が44%（前回41%）おり、こちらもさらなる周知が必要である。

「ハラスメントを受けたことがない」と回答した大学院生は94%（前回91%）であり、「何らかのハラスメントを見聞きしたことがある」と回答した大学院生は36%（前回22%）であった。ハラスメントを受けた相手、対応策については、回答数が少なく、分析の対象とはならなかった。こちらも回答数が少ないためきちんとした分析はできないが、ハラスメントを受けた者のうち「特に影響はなかった」と回答した大学院生は0%であり、ハラスメントを受けた場合、何らかの不利益や影響を受けていることが確認された。

差別的・改善すべきと感じている事柄について、「バリアフリーなど、大学の設備に関わる問題」、「教員・事務職員の発言・態度に関わる問題」が上位を占め、「性差に関わる問題」、「留学生に関わる問題」、「インターネット上での問題」、「プライバシーに関わる問題」、「学生同士の発言・態度に関わる問題」が続いたが、いずれも回答数が少ないため分析は難しい。

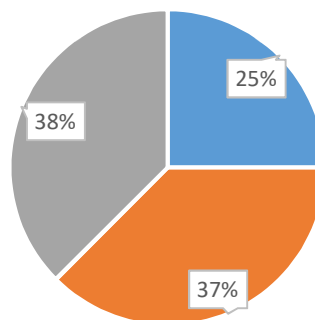
なお、「バリアフリーなど、大学の設備に関わる問題」については、個人の人権に関わらない事項が一部含まれている可能性があることを考慮する必要がある。

2. 特筆すべき事項

回答数が少なく分析が難しい状況であったが、「ハラスメントを受けたことがない」「何らかのハラスメントを見聞きしたことがある」と回答した大学院生が増加していること、相談窓口を知らない大学院生が依然半数近くいることについて留意する必要がある。

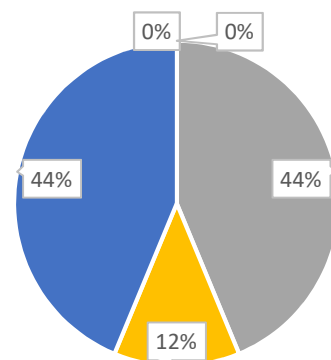
16 奈良教育大学ダイバーシティ・インクルージョン宣言について

知っているし、内容を理解している	4
聞いたことはあるが、内容は理解していない	6
聞いたことがない	6
計	16



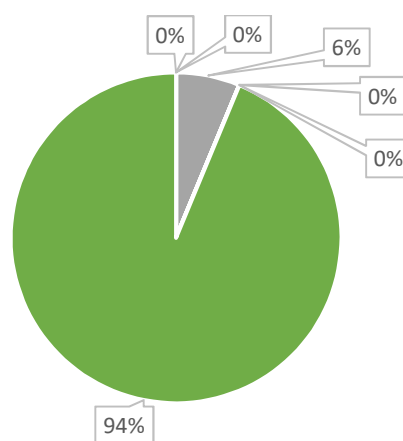
17 本学が設置するハラスメント相談窓口（ハラスメント相談員）について

知っているし、利用したこともある	0
知っているが、利用しづらい	0
知っているが、利用する必要がない	7
知っているが、相談員が誰なのかは知らない	2
知らない	7
計	16



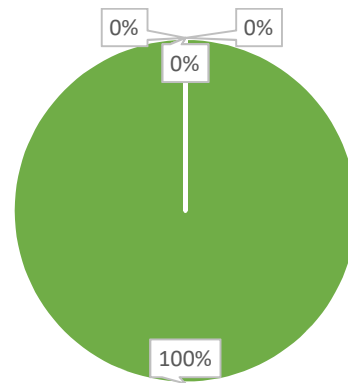
18 現在又は過去に学内でハラスメントを受けたことはありますか。ある場合は、受けたことがあるハラスメントを選択してください【複数選択可】

セクシャル・ハラスメント（不快に感じる性的な言動等）	0
パワー・ハラスメント（上下関係を利用した嫌がらせ等）	0
アカデミック・ハラスメント（教育・研究指導における嫌がらせ）	1
アルコール・ハラスメント（飲酒の強要）	0
その他（SNSを含む）執拗ないやがらせ	0
ハラスメントを受けたことはない	15
計	16



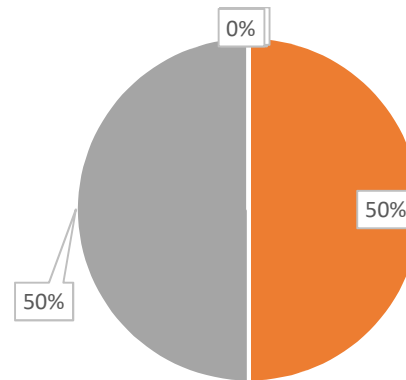
19 ハラスメントを受けた相手は誰ですか【複数選択可】

教員	0
事務職員	0
所属する研究室の学生	0
所属するサークルの学生	0
所属する研究室・サークル以外の学生	0
その他	1
計	1



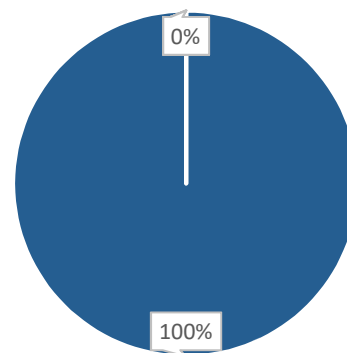
20 ハラスメントを受けた時、そのことを誰かに相談しましたか【複数選択可】

家族	0
友人・先輩	1
教員	1
事務職員	0
本学のハラスメント相談員	0
その他	0
誰にも相談していない	0
計	2



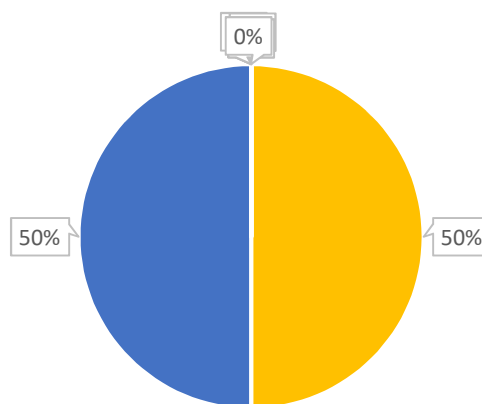
21 ハラスメントに対する対応策を講じましたか【複数選択可】

拒否や抗議をした	0
無視した	0
冗談ですませようとした	0
考えないようにした	0
相手を避けようとした	0
特に何もしなかった	0
その他	1
計	1



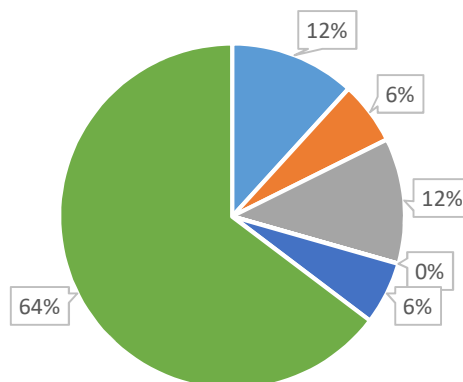
22 ハラスメントを受けたことにより、あなた自身にどのような不利益や影響がありましたか【複数選択可】

進路の決定や成績の判定で不利な扱いを受けた	0
サークルや研究室で仲間はずれ等をされ人間関係が悪くなった	0
相手との接触を避けたことにより、活動・行動範囲が制限された	0
大学へ行くのが嫌になった	1
勉強（研究）する気がなくなった	1
憂鬱感、不安感など精神的に不安定になった	0
不眠や食欲不振など体調を崩した	0
特に影響はなかった	0
その他	0
計	2



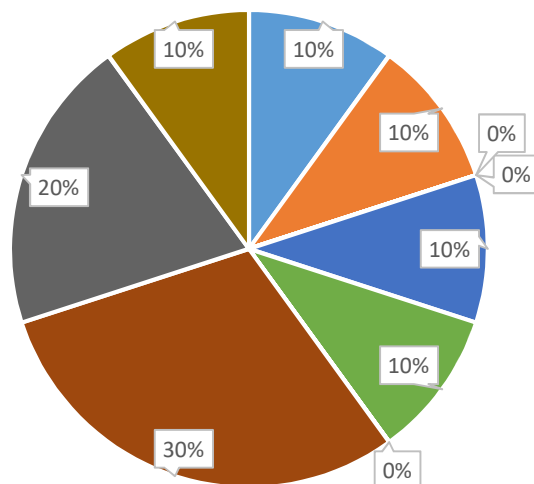
23 現在又は過去に学内でハラスメントの相談を受けた、又は見聞きしたことがありますか。ある場合は、相談を受けた又は見聞きしたハラスメントを選択してください【複数選択可】

セクシャル・ハラスメント	2
パワー・ハラスメント	1
アカデミック・ハラスメント	2
アルコール・ハラスメント	0
その他（SNSを含む）執拗ないやがらせ	1
相談を受けたことがない又は見聞きしたことがない	11
計	17



24 本学において、個人の人権に関わって、「差別的な取り扱いである」、「改善すべきである」といった課題には何があると思いますか
【複数選択可】

性差に関わる問題	1
留学生に関わる問題	1
障害者に関わる問題	0
部落差別に関わる問題	0
インターネット上での問題	1
プライバシーに関わる問題	1
ハラスメントに関わる問題	0
バリアフリーなど、大学の設備に関わる問題	3
教員・事務職員の発言・態度に関わる問題	2
学生同士の発言・態度に関わる問題	1
計	10



カテゴリ名：

「F. 課外活動（サークル活動等）と学内における生活の状況について」

調査項目：

- 27 現在、学内外のサークル等へ加入していますか
- 28 加入しているサークル等を選択してください。【複数選択可】
- 29 サークルに入った目的は何ですか【複数選択可】
- 30 加入していない理由は何ですか【複数選択可】
- 31 大学祭「輝薨祭」に参加したことがありますか
- 32 次の項目について、あなたの満足度を選択してください。
 - ① 大学における生活全般 ② 体育・課外活動施設
 - ③ 学生食堂などの福利厚生施設 ④ 駐輪場、バイク置き場 ⑤ 教室設備
 - ⑥ コンピューター施設 ⑦ 事務窓口の対応 ⑧ 進路・就職の支援体制
 - ⑨ 保健管理体制 ⑩ 学生相談体制 ⑪ 掲示板・メール等の学生連絡体制
- 33 学生生活についての意見・要望等を自由に入力してください。

1. 全体の傾向

大学院生は、サークル等に加入している人がほとんどいなかった。その理由として、ほとんどの学生が「学業に専念したいから」と回答していた。また、大学祭への参加も少数であった。

満足度の調査では、生活全般の満足度は高かった。施設に関しては、教室設備、コンピューター施設の満足度は高いが、体育・課外活動施設、福利厚生施設、駐輪場などの施設はそれと比較して低い傾向であった。支援体制に関わる項目では、進路・就職に関する項目以外では「大いに満足」・「やや満足」が過半数を超えていた。

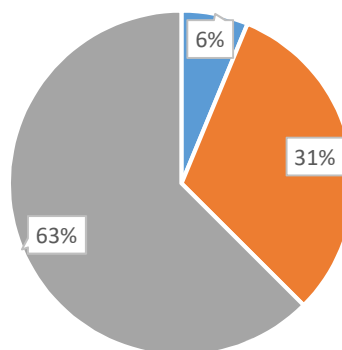
2. 特筆すべき事項

大学院生がサークル等の課外活動に参加することは、学部生にとってもメリットがあると考えられるので、もう少し積極的に参加できる環境が用意できると良いと考える。

満足度に関しては、進路・就職の支援体制への満足度が低い傾向がみられる。大学院生の要望に耳を傾け、大学院生向けの就職支援の体制を一層充実させていく必要があると考える。施設に関しては、学部生同様に、学生食堂等の福利厚生施設への不満を持っている学生が半数位いた。授業や研究のために遅い時間まで大学に残る大学院生が多くいることも影響していると考えられる。

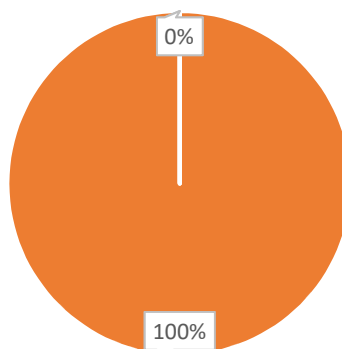
27 現在、学内外のサークル等へ加入していますか

加入している	1
以前は加入していたが、現在は加入していない	5
全く加入したことがない	10
計	16



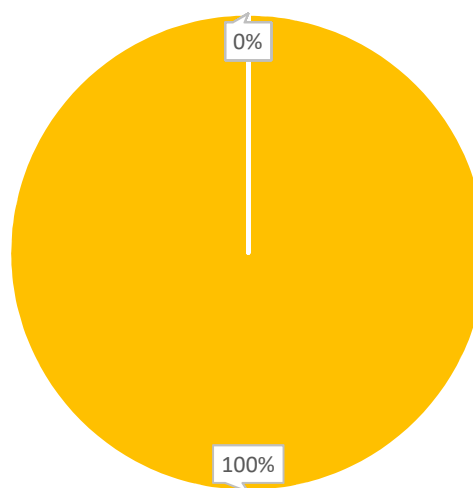
28 加入しているサークル等を選択してください。【複数選択可】

文化系サークル	0
体育系サークル	1
その他のサークル・ボランティアグループ	0
計	1



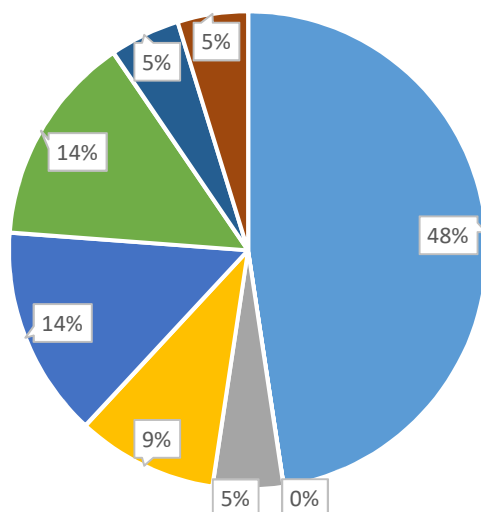
29 サークルに入った目的は何ですか【複数選択可】

高校からやっているから	0
団体活動がしたかったから	0
友達が欲しかったから	0
身体を鍛えたいと思ったから	1
知識・技術を身に付けたかったから	0
就職に役立つと思ったから	0
余暇利用のため	0
先輩に勧誘されたから	0
その他	0
計	1



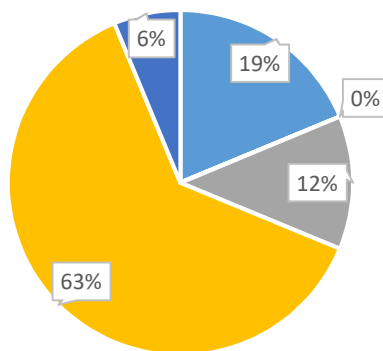
30 加入していない理由は何ですか【複数選択可】

学業に専念したいため	10
健康上の理由	0
経済的事情	1
通学に時間がかかるため	2
他にやりたいことがあるため	3
入りたいサークルが無いため	3
サークル運営に不満があるため	1
その他	1
計	21



31 大学祭「輝薨祭」に参加したことがありますか

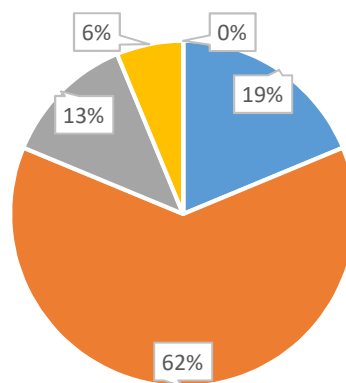
企画・イベント等の一員として参加した	3
役員として参加した	0
企画・イベント等を見たり聞いたりしてまわった	2
参加しなかった	10
在学中に、まだ開催されていない	1
計	16



32 次の項目について、あなたの満足度を選択してください。

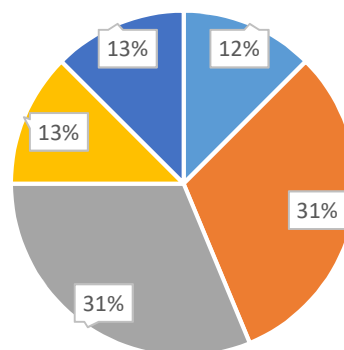
① 大学における生活全般

大いに満足	3
やや満足	10
どちらとも言えない	2
やや不満	1
大いに不満	0
計	16



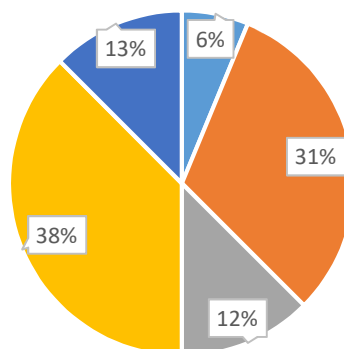
② 体育・課外活動施設

大いに満足	2
やや満足	5
どちらとも言えない	5
やや不満	2
大いに不満	2
計	16



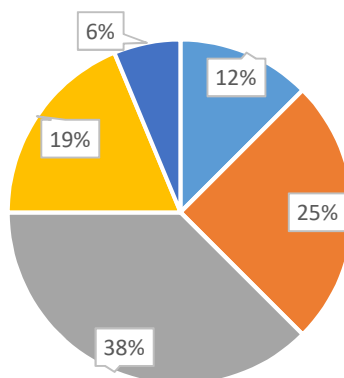
③ 学生食堂などの福利厚生施設

大いに満足	1
やや満足	5
どちらとも言えない	2
やや不満	6
大いに不満	2
計	16



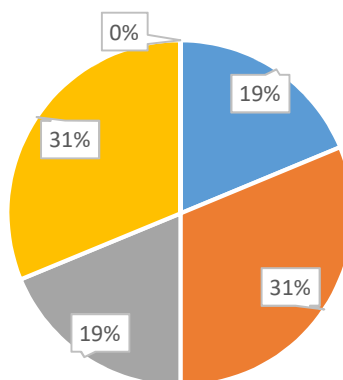
④ 駐輪場、バイク置き場

大いに満足	2
やや満足	4
どちらとも言えない	6
やや不満	3
大いに不満	1
計	16



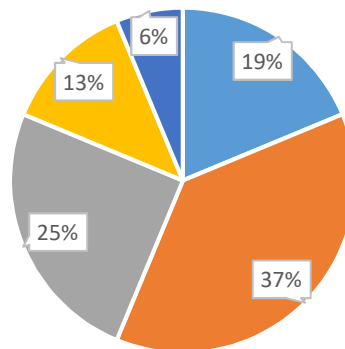
⑤ 教室設備

大いに満足	3
やや満足	5
どちらとも言えない	3
やや不満	5
大いに不満	0
計	16



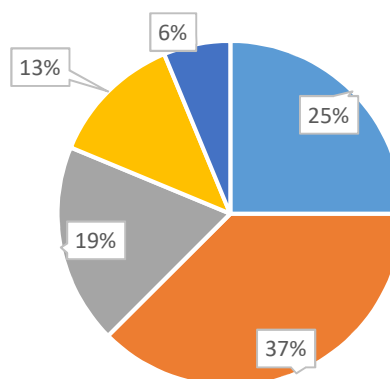
⑥ コンピューター施設

大いに満足	3
やや満足	6
どちらとも言えない	4
やや不満	2
大いに不満	1
計	16



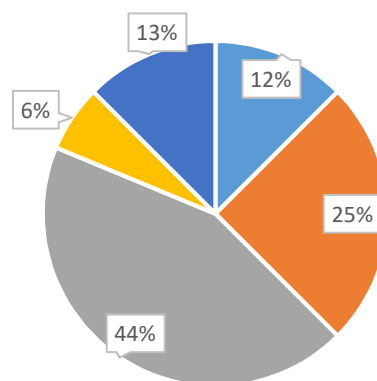
⑦ 事務窓口の対応

大いに満足	4
やや満足	6
どちらとも言えない	3
やや不満	2
大いに不満	1
計	16



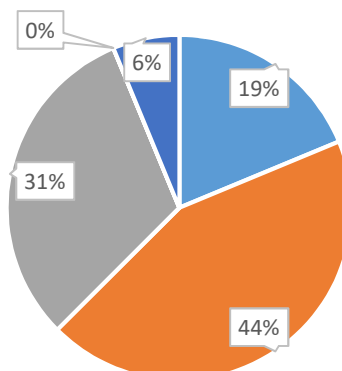
⑧ 進路・就職の支援体制

大いに満足	2
やや満足	4
どちらとも言えない	7
やや不満	1
大いに不満	2
計	16



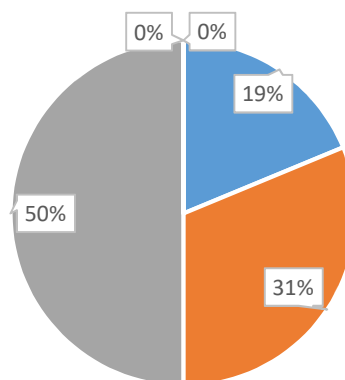
⑨ 保健管理体制

大いに満足	3
やや満足	7
どちらとも言えない	5
やや不満	0
大いに不満	1
計	16



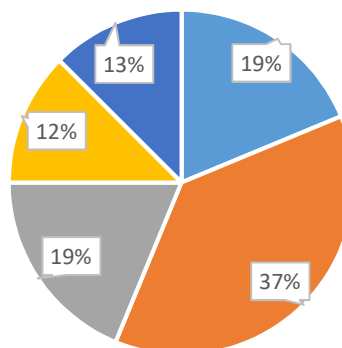
⑩ 学生相談体制

大いに満足	3
やや満足	5
どちらとも言えない	8
やや不満	0
大いに不満	0
計	16



⑪ 掲示板・メール等の学生連絡体制

大いに満足	3
やや満足	6
どちらとも言えない	3
やや不満	2
大いに不満	2
計	16



カテゴリ名：

「G. ボランティア活動について」

調査項目：

- 34 本学入学以降のボランティア活動について
- 35 あなたが参加したボランティア活動は【複数選択可】
- 36 あなたが今後参加してみたいボランティア活動は【複数選択可】
- 37 ボランティア活動を行うことで期待する（した）ことは、何ですか【複数選択可】
- 38 ボランティア活動に参加しない理由は何ですか【複数選択可】

1. 全体の傾向

ボランティア活動について、「参加している」が19%、「参加するつもりがない」が81%であった。参加したボランティア活動は、「地域社会」と「国際交流」がそれぞれ25%で、「文化・スポーツ」が50%と高いが回答数が4と少なかった。参加してみたいボランティア活動は、回答者なしだった。

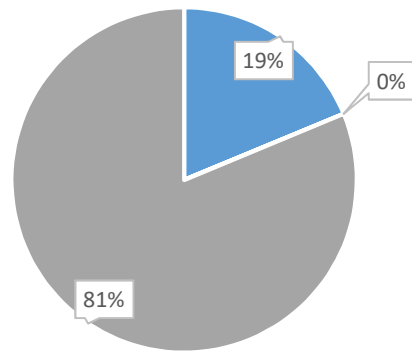
ボランティア活動を行うことで期待することは、「人や社会の役に立つこと」と「人生（社会）経験が豊富になること」がそれぞれ4割であった。ボランティア活動に参加しない理由は、「学業に専念したい」が41%と高く、「時間に余裕がない」と「他にやりたいことがある」、「興味がない」がそれぞれ2割であった。

2. 特筆すべき事項

ボランティア活動について、「参加するつもりがない」が8割を超えており、院生はほとんど活動に参加しないことが明確になった。参加しない理由に「学業に専念したい」と「時間がない」等の回答が多いことは前回の調査から変わっていなかった。よって、院生に対して「ボランティア活動への意識」が必要なのか、あるいは「時間的な余裕」が必要なのかを検討することで、「ボランティア活動」についての考えや行動が変わるのではないかと考える。

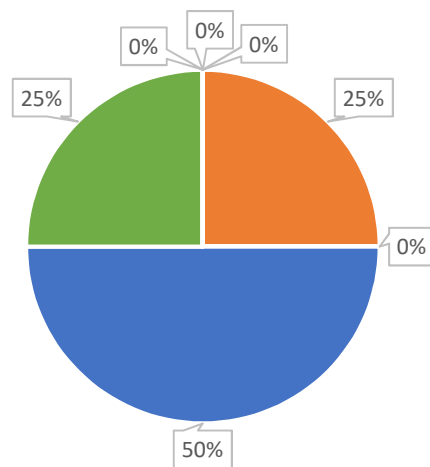
34 本学入学以降のボランティア活動について

参加している、参加したことがある	3
参加したことはないが、今後参加するつもりである	0
参加したことがなく、今のところ参加するつもりはない	13
計	16



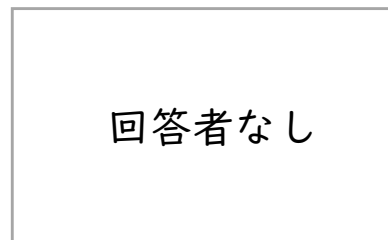
35 あなたが参加したボランティア活動は【複数選択可】

学校ボランティア	0
地域社会に関するもの（まちづくり、交通安全など）	1
社会福祉に関するもの（子育て支援、障がい者支援など）	0
環境保全に関するもの	0
文化・スポーツに関するもの	2
国際交流に関するもの	1
災害時救援に関するもの	0
その他	0
計	4



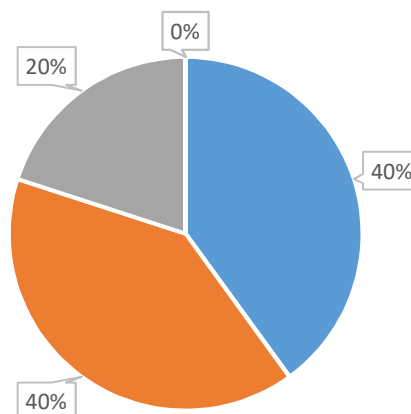
36 あなたが今後参加してみたいボランティア活動は【複数選択可】

学校ボランティア	0
地域社会に関するもの（まちづくり、交通安全など）	0
社会福祉に関するもの（子育て支援、障がい者支援など）	0
環境保全に関するもの	0
文化・スポーツに関するもの	0
国際交流に関するもの	0
災害時救援に関するもの	0
その他	0
計	0



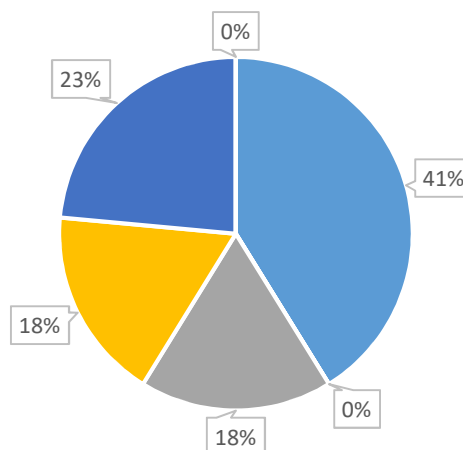
37 ボランティア活動を行うことで期待する（した）ことは、何ですか【複数選択可】

人や社会の役に立つこと	2
人生（社会）経験が豊富になること	2
程度の差はあるが、自分の勉強に直接役にたつこと	1
自分の生活に充実感が増すこと	0
将来の進路にプラスになること	0
その他	0
計	5



38 ボランティア活動に参加しない理由は何ですか【複数選択可】

学業に専念したいため	7
健康上の問題	0
時間に余裕がないため	3
他にやりたいことがあるため	3
興味がないため	4
その他	0
計	17



カテゴリ名：

「H. 図書館の利用について」

調査項目：

- 39 図書館をどのくらい利用しますか
- 40,41 利用する目的は、何ですか
- 42 図書館資料、サービス及び施設・設備面に満足していますか？
- 43 必要とする図書館資料がない場合に利用できるサービス（リクエスト制度・ブックハンティング、他大学図書館等からの取り寄せ）があることを知っていますか。
- 44 図書館について、ご意見等があれば自由に入力してください

1. 全体の傾向

図書館利用頻度については「週1回以上」が37%で最も多く、次が「月1回以上」(31%)であった。前回調査時は「月1回以上」(45.2%)の方が多く、次が「週1回以上」(28.6%)であり、学部学生と同様にコロナ禍を経て、図書館来館の機会が増えてきたと言える。利用目的については「閲覧・貸出のため」(47%)「個人の学習・研究のため」(31%)「文献複写のため」(10%)の順になっている。この順序は前回調査時と同様であり、パソコンを利用するための入館は減少している。

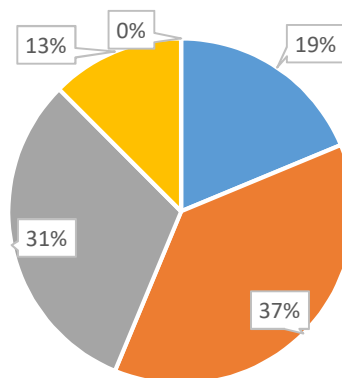
図書館資料、サービス及び施設・設備には5割の学生が「満足している」としている。

2. 特筆すべき事項

図書館資料に不満があったとした回答(25%)がある一方で、必要とする図書館資料がない場合に利用できるサービスを9割近くが認知している。大学院生は専門分野の資料の充実についてより切実に希望しており、必要とする資料を手に入れるためのサービスについても積極的に情報収集しているのかもしれない。他大学図書館との相互利用も利用しながら、学生の満足につながる資料の提供につなげていきたい。

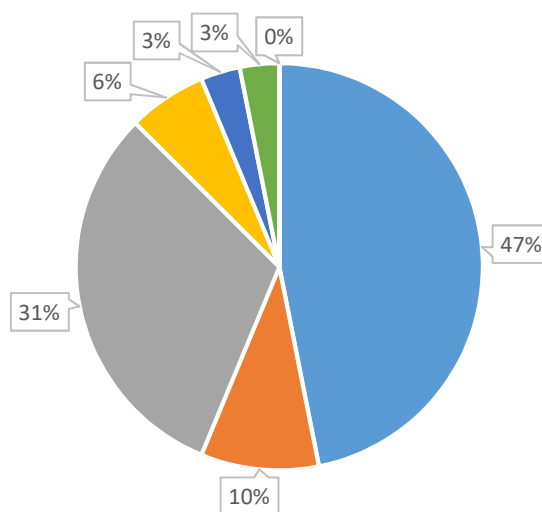
39 図書館をどのくらい利用しますか

毎日利用する	3
週1回以上利用する	6
月1回以上利用する	5
年数回利用する	2
利用したことがない	0
計	16



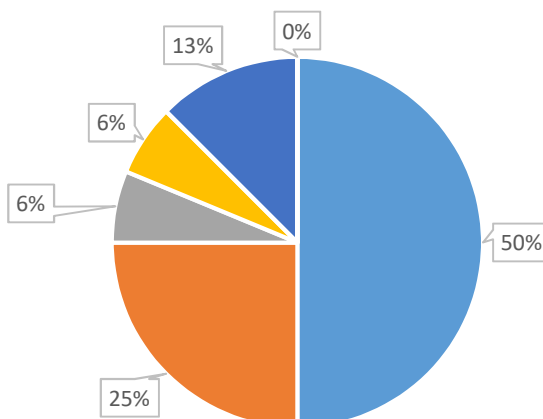
40,41 利用する目的は、何ですか

資料（図書・雑誌・新聞等）の閲覧・貸出のため	15
文献複写のため	3
個人の学習・研究のため（予習・復習・試験勉強等）	10
友人同士やゼミでのグループ学習・研究のため	2
パソコンを利用するため	1
気分転換	1
授業等の間の時間調整	0
その他	0
計	32



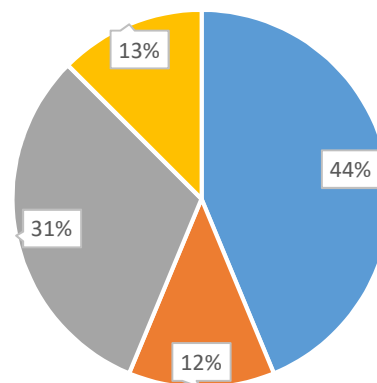
42 図書館資料、サービス及び施設・設備面に満足していますか？

満足している	8
図書館資料に不満がある（見たい図書・雑誌が少ないなど）	4
サービスに不満がある	1
施設・設備に不満がある	1
満足・不満のどちらでもない	2
その他	0
計	16



43 必要とする図書館資料がない場合に利用できるサービス（リクエスト制度・ブックハンティング、他大学図書館等からの取り寄せ）があることを知っていますか。

リクエスト制度・ブックハンティングを知っている	7
他大学図書館等からの取り寄せサービスを知っている	2
2 つとも知っている	5
2 つとも知らない	2
計	16



カテゴリ名：

「I. 情報館の利用について」

調査項目：

45 共同利用 PC に満足していますか

46 利用時間に満足していますか

47 情報館について、ご意見等があれば自由に入力してください

1. 全体の傾向

共同利用 PC の満足度は 19%にとどまっており、利用時間に対する満足度も 25%と低めの結果となった。

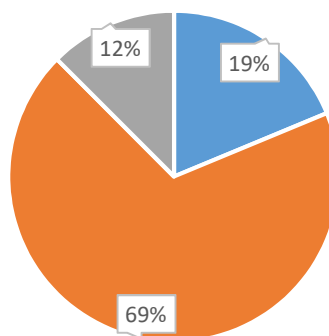
自由記述に具体的な意見は書かれていなかった。

2. 特筆すべき事項

なし

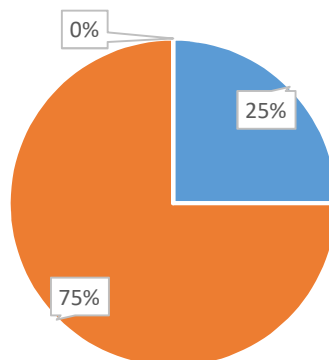
45 共同利用PCに満足していますか

満足している	3
どちらともいえない	11
不満である	2
計	16



46 利用時間に満足していますか

満足している	4
どちらともいえない	12
不満である	0
計	16



カテゴリ名：

「J. 教育資料館について」

調査項目：

48 教育資料館の常設展・企画展を見学したことがありますか

49 教育・研究成果や課外活動の発表の場として、教育資料館を利用できることを知っていますか

1. 全体の傾向

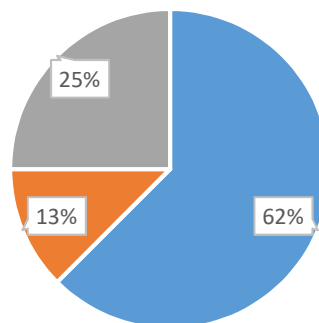
「教育資料館の常設展・企画展」について、「見学したことがある」は約 62%、「発表の場として教育資料館を利用できることを知っている」が約 56%となっており、学部生に比べて利用度や認知度は高くなっている。

2. 特筆すべき事項

特になし。

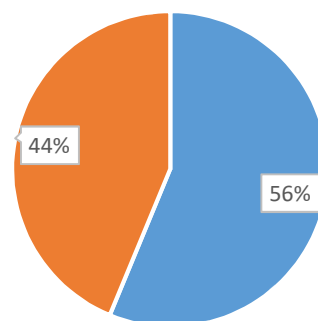
48 教育資料館の常設展・企画展を見学したことがありますか

見学したことがある	10
知っているが見学などをしたことがない	2
見学したことがない	4
計	16



49 教育・研究成果や課外活動の発表の場として、教育資料館を利用できることを知っていますか

知っている	9
知らない	7
計	16



カテゴリ名：

「K. 経済状況について」

調査項目：

- 50 1ヶ月あたりの平均収入額を選択してください。（家庭からの給付、仕送り、小遣い等）
- 51 1ヶ月あたりの平均収入額を選択してください。（奨学金）
- 52 1ヶ月あたりの平均収入額を選択してください。（アルバイト収入）
- 53 1ヶ月あたりの平均支出額の合計を選択してください。（食費、勉学費、娯楽費、通信費、下宿の場合の住居・光熱水費等、すべての合計額）
- 54 自分の経済状況について、どのように感じていますか。
- 55 奨学金、授業料免除（減免）、アルバイトなど経済生活に関する要望・意見等を自由に入力してください

1. 全体の傾向

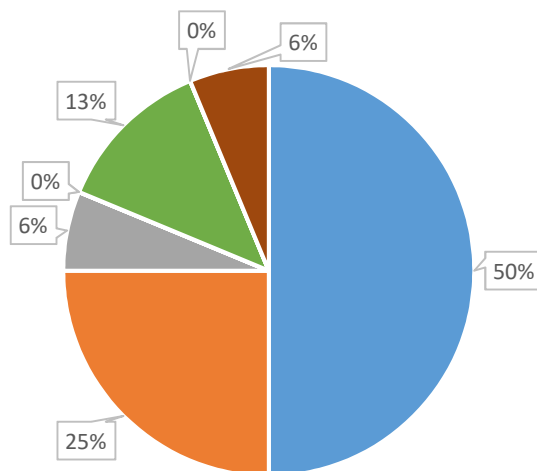
1ヶ月あたりの平均収入額（家庭からの給付、仕送り、小遣い等）において、「なし」の回答が最も多く（50%）、次いで「3万円未満」（25%）であった。1ヶ月あたりの平均収入額（奨学金）において、「なし」の回答が最も多く（69%）、次いで「3万円未満」（13%）であった。1ヶ月あたりの平均収入額（アルバイト収入）において、「3万円未満」の回答が最も多く（31%）、次いで「3万円～5万円未満」（25%）であった。1ヶ月あたりの平均支出額の合計において、「3～5万円未満」の回答が最も多く（25%）、次いで「5～10万円未満」（19%）であった。自分の経済状況について、どのように感じていますか。という質問においては、「どちらとも言えない」の回答が最も多く（31%）、次いで「やや苦しい」（25%）であった。自由記述において、成績優秀者に対するインセンティブなどが挙げられていた。

2. 特筆すべき事項

大学院生については、各調査項目の回答者が少ないこともあり、個人の特定が懸念されるため特に言及しない。学部学生と同様に、自分の経済状況において約4割（37%）が「やや苦しい」、「苦しい」と回答していることから、経済状況が苦しい大学院生は少なくないと推察される。自由記述においては「現職教員の長期自主研修で在学しているため、服務規程で兼業できないのがきつい」といった記述が見られ、これも経済状況が苦しくなる要因の一つになっているのではないかと推察される。

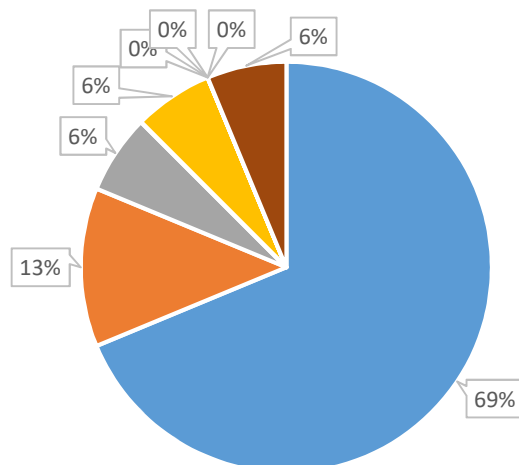
50 | 1ヶ月あたりの平均収入額を選択してください。（家庭からの給付、仕送り、小遣い等）

なし	8
3万円未満	4
3～5万円未満	1
5～7万円未満	0
7～10万円未満	0
10～20万円未満	2
20万円以上	0
答えたくない	1
計	16



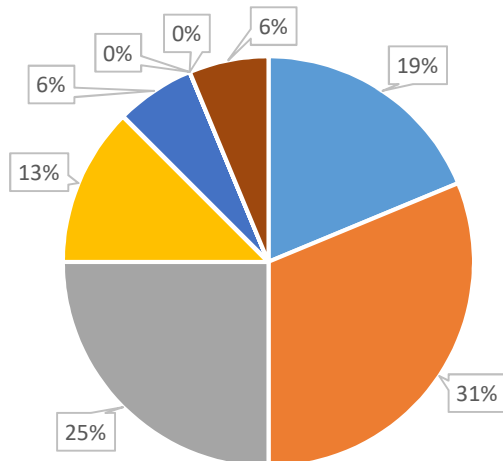
51 | 1ヶ月あたりの平均収入額を選択してください。（奨学金）

なし	11
3万円未満	2
3～5万円未満	1
5～7万円未満	1
7～10万円未満	0
10～20万円未満	0
20万円以上	0
答えたくない	1
計	16



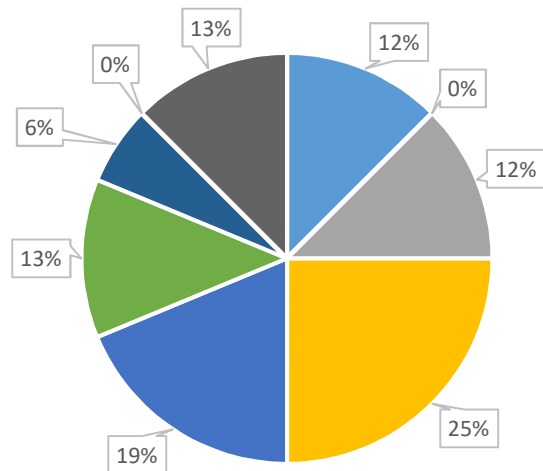
52 | 1ヶ月あたりの平均収入額を選択してください。（アルバイト収入）

なし	3
3万円未満	5
3～5万円未満	4
5～7万円未満	2
7～10万円未満	1
10～20万円未満	0
20万円以上	0
答えたくない	1
計	16



53 1ヶ月あたりの平均支出額の合計を選択してください。（食費、勉学費、娯楽費、通信費、下宿の場合の住居・光熱水費等、すべての合計額）

なし	2
1万円未満	0
1～3万円未満	2
3～5万円未満	4
5～10万円未満	3
10～15万円未満	2
15～20万円未満	1
20万円以上	0
答えたくない	2
計	16



54 自分の経済状況について、どのように感じていますか。

余裕がある	0
やや余裕がある	3
どちらとも言えない	5
やや苦しい	4
苦しい	2
答えたくない	2
計	16

